



# IXIL ラシッサUDアウトセット連動折れドア 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

- 下地材の固定強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・下地材を固定する下地はまぐさ、柱などの硬木としてください。
  - ・躯体が軽量鉄骨の場合は開口補強材、もしくは木枠をまわしてください。ランナー・スタッドにはねじを効かせないでください。
  - ・開口補強材に取り付ける場合はドリルねじ(現場手配)で固定してください。
- 吊車は確実に押し込んでください。扉が落下するおそれがあります。

## ■施工上のお願い

- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換は出来ません)
- 運搬・加工の際は傷つかないように取り扱いください。また、水・直射日光のあたる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 本製品の組立・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり、ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際に表面シートを痛めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がレールや戸車に付着し、作動不良の原因になります。
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。

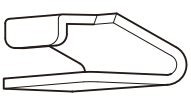
## ■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
    - ・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
  - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

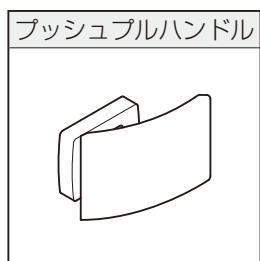
## ■部品・部材の明細

	本体					
	レールセット					
	下素材	カバー材	レール	前面カバー		
	縦枠セット					
	戸先縦枠	戸尻縦枠	目隠し	戸当り	モヘア	
	化粧縁両面セット					
	化粧縁(縦)(本体側)	化粧縁(縦)	化粧縁(横)(本体側)	化粧縁(横)	板材(縦)	板材(横)

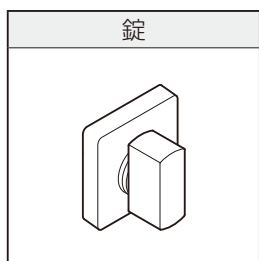
■部品セット(別売り)

端部キャップ (R/L)	ジョイント部品	開閉ガイド	吊元吊車	上部ローラー	サイドローラー	中扉ガイドピボット	吊車ロック
 LR各1個	 同梱取付けねじ M4×5 トラス小ねじ 1本	 同梱取付けねじ φ4×25 D7皿タップピンねじ 2本	 同梱取付けねじ M3×12 低頭小ねじ 2本	 同梱取付けねじ φ4×20 トラスタップピンねじ 2本	 同梱取付けねじ φ4×14 皿小ねじ 1本		
軸ピボット(下用)	吊元軸受	裏板	下地材固定ねじ	レール固定ねじ	戸先縦枠固定ねじ	戸尻縦枠固定ねじ	ストッパー
	 同梱取付けねじ M4×5 トラス小ねじ 1本	 2個	 下地材固定ねじ 皿タップピンねじ φ4×75 6本	 レール固定ねじ トラスタップピンねじ φ4×25 11本	 戸先縦枠固定ねじ トラスタップピンねじ φ4×50 6本	 戸尻縦枠固定ねじ DNねじ φ3.8×65	 同梱取付けねじ M3×12 低頭小ねじ 2本

■プッシュプルハンドルセット(別売り)



■錠セット(別売り)



■取付け前の準備

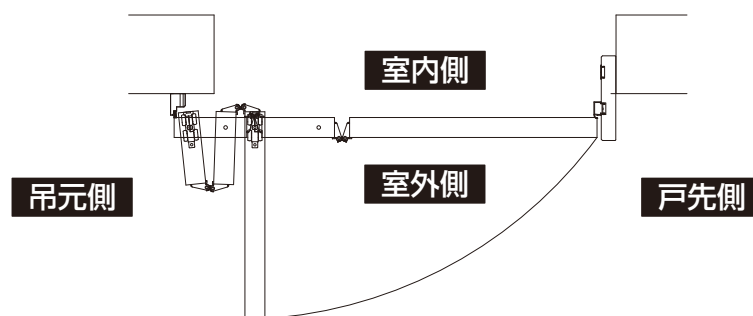
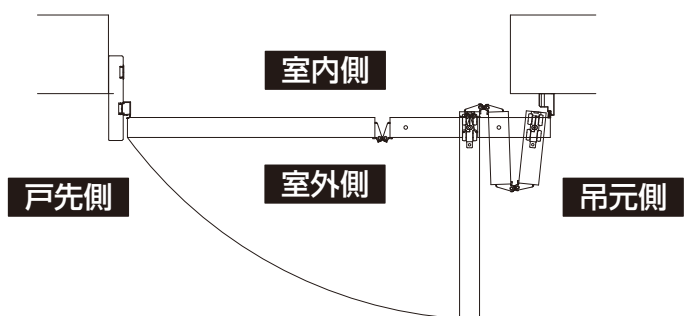
■取付け前の確認

施工前に納まりを確認してください。納まりは以下の項目の組み合わせとなります。

●吊元

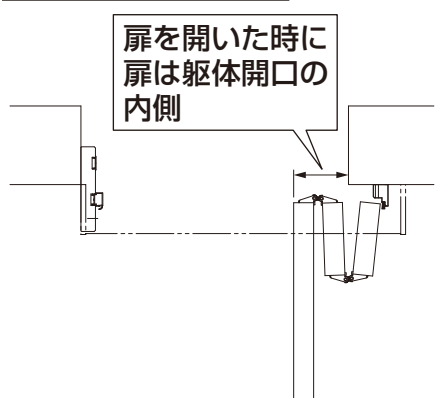
●右吊(R仕様)

●左吊(L仕様)

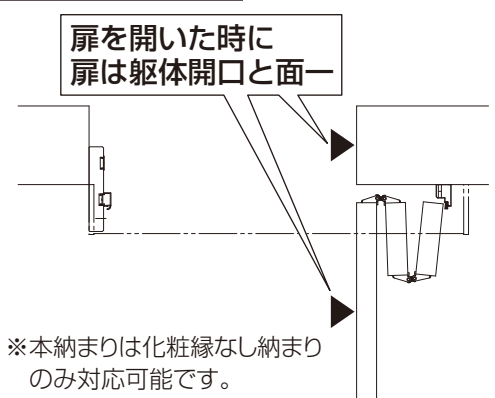


●開口の取り方

引き残しあり

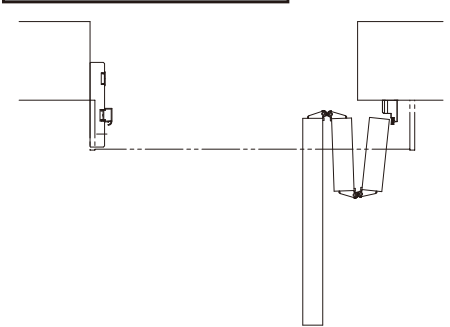


引き残しなし

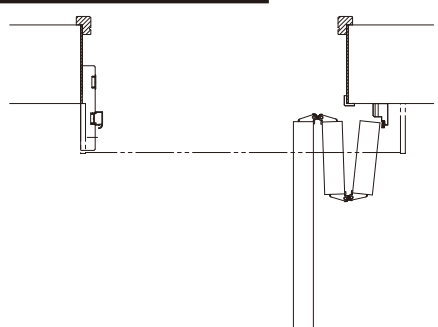


●壁の仕上げ

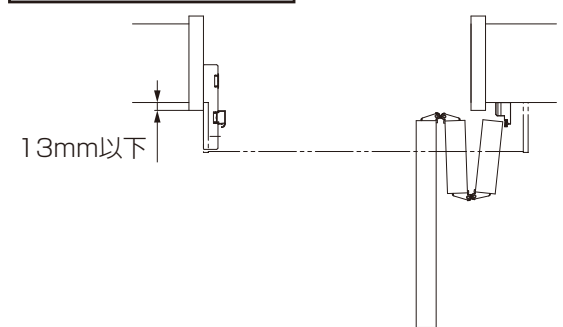
化粧縁なし



両側化粧縁

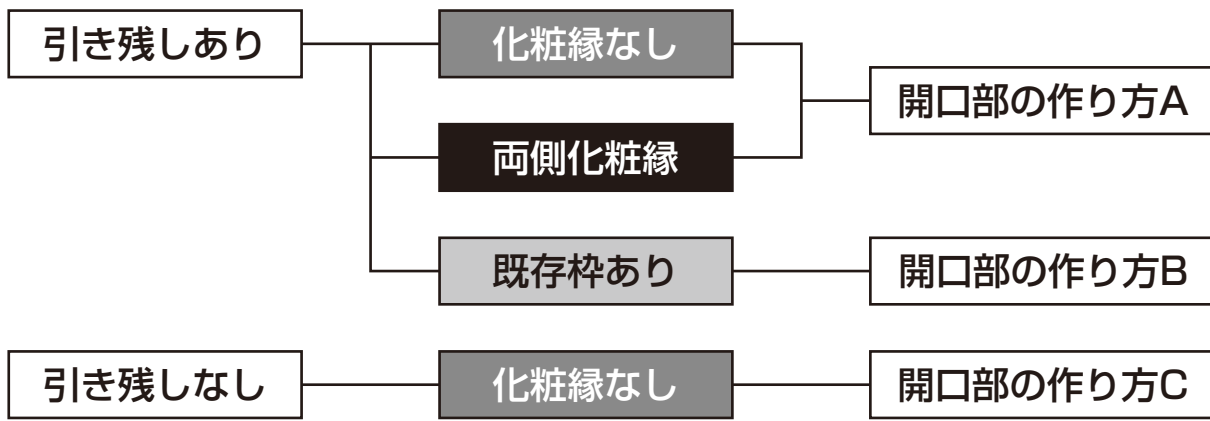


既存枠あり



既存枠の出幅寸法が13mmより大きい場合、連動折れドアは取付けることが出来ません。既存枠を取外してから取付けてください。

■開口部の作成

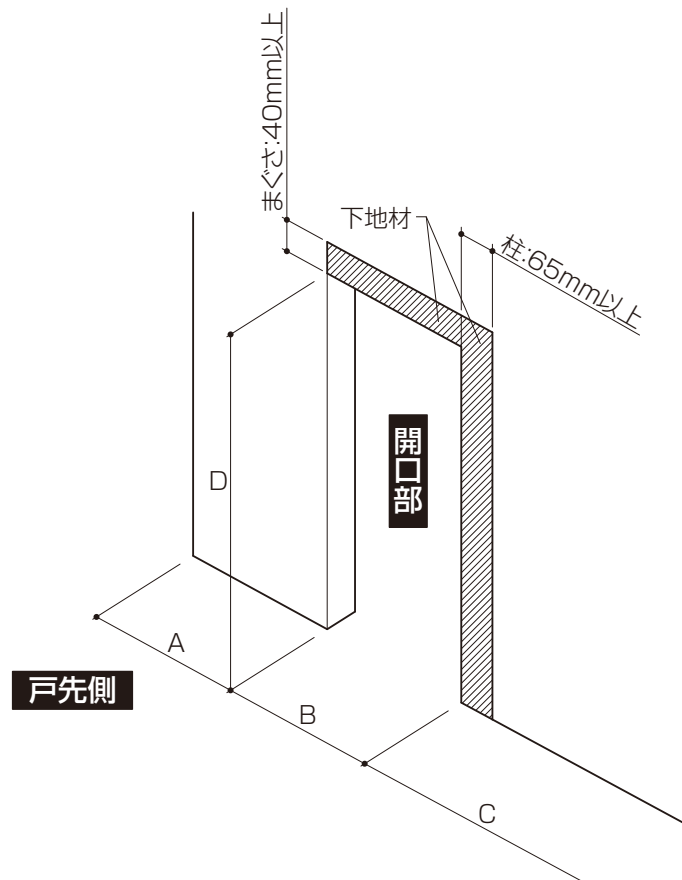


①納まりに応じて開口部を以下の通り作成(リフォームの場合は確認)してください。(図は右吊仕様を室外側から見た形を示します。)  
 ※左吊仕様は図と対称になります。

▲ 注意

- 下地材の固定強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・下地材を固定する下地はまぐさ、柱などの硬木としてください。
  - ・躯体が軽量鉄骨の場合は開口補強材、もしくは木枠をまわしてください。
  - ランナー・スタッドにはねじを効かせないでください。

開口部の作り方A 引き残しあり(化粧縁なしまたは、両側化粧縁)



■規格品

W07

納まり	A寸法	B寸法	C寸法
化粧縁なし納まり	0mm以上	599mm	141mm以上
両側化粧縁納まり	12mm以上	605mm	138mm以上

H20

納まり	D寸法
化粧縁なし納まり	2023mm
両側化粧縁納まり	2018mm

■特寸

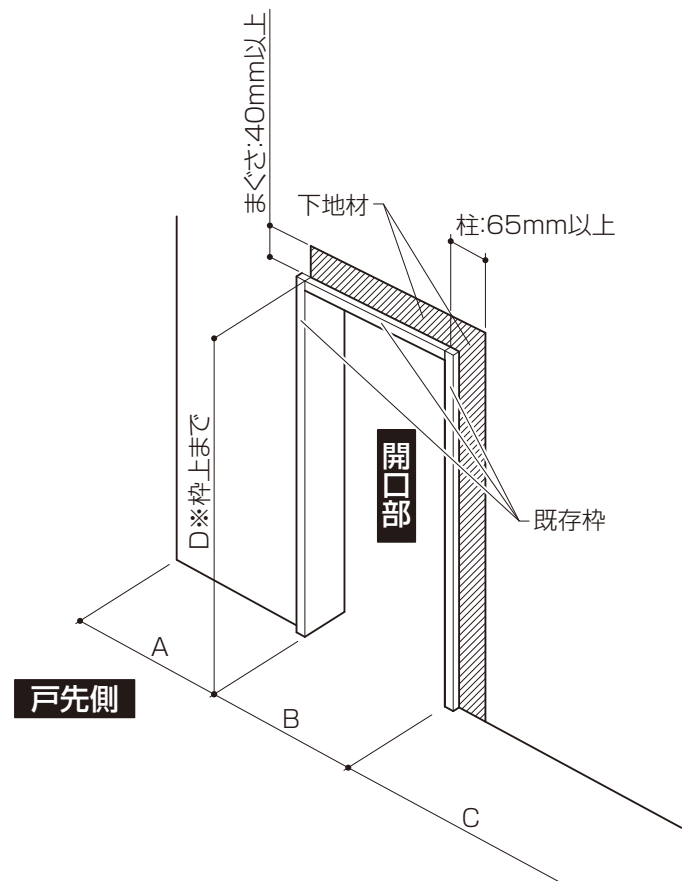
W特寸

納まり	A寸法	B寸法	C寸法
化粧縁なし納まり	0mm以上	W-101mm	141mm以上
両側化粧縁納まり	12mm以上	W-95mm	138mm以上

H特寸

納まり	D寸法
化粧縁なし納まり	H-50mm
両側化粧縁納まり	H-55mm

開口部の作り方B 引き残しあり(既存枠あり)



■規格品

W07

納まり	A寸法	B寸法	C寸法
既存枠納まり	0mm以上	599mm	141mm以上

H20

納まり	D寸法
既存枠納まり	2023mm

■特寸

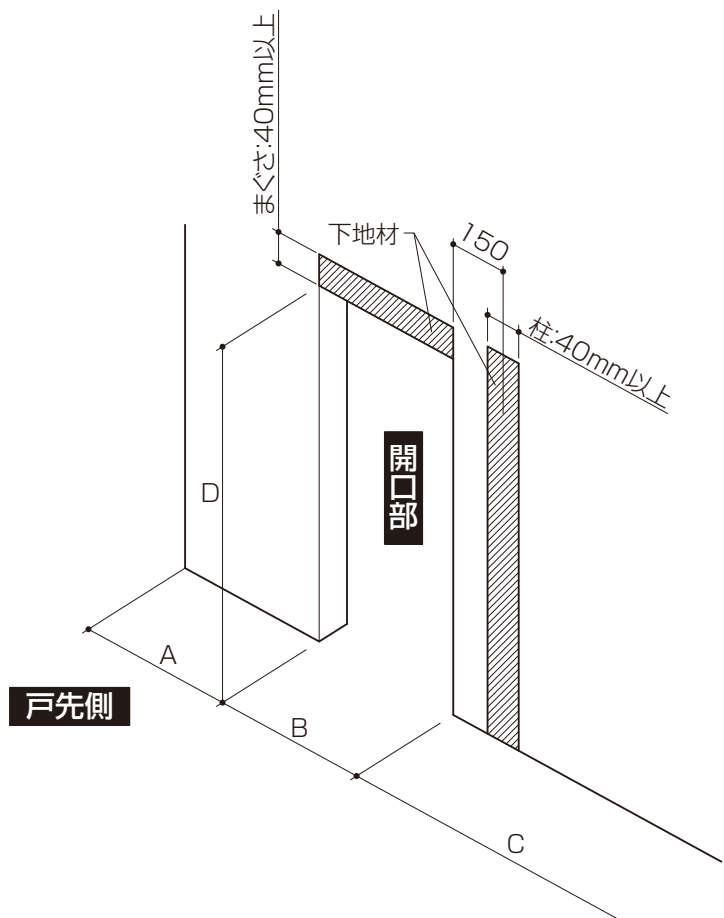
W特寸

納まり	A寸法	B寸法	C寸法
既存枠納まり	0mm以上	W-101mm	141mm以上

H特寸

納まり	D寸法
既存枠納まり	H-50mm

**開口部の作り方C** 引き残しなし(化粧縁なし)



■規格品

W07

納まり	A寸法	B寸法	C寸法
化粧縁なし納まり	0mm以上	515mm	225mm以上

H20

納まり	D寸法
化粧縁なし納まり	2023mm

■特寸

W特寸

納まり	W	A寸法	B寸法	C寸法
化粧縁なし納まり	$698 \leq W \leq 765$	0mm以上	W-185	225mm以上
	$765 < W \leq 1136$	0mm以上	W-200	240mm以上

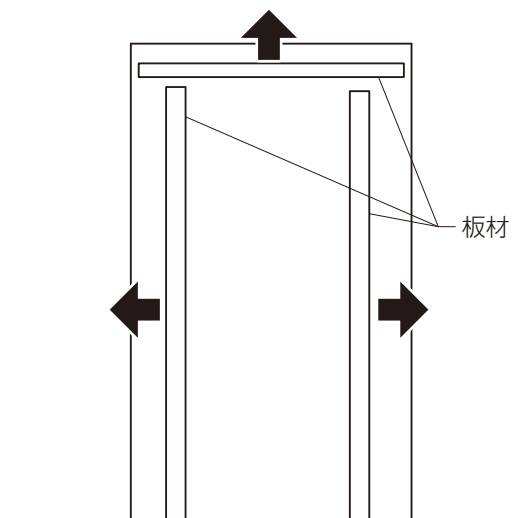
H特寸

納まり	D寸法
化粧縁なし納まり	H-50mm

**両側化粧縁** の場合のみ

②両側化粧縁を取付けます。

①板材を開口部に合わせて切断し、接着剤(現場手配)で貼り付けます。



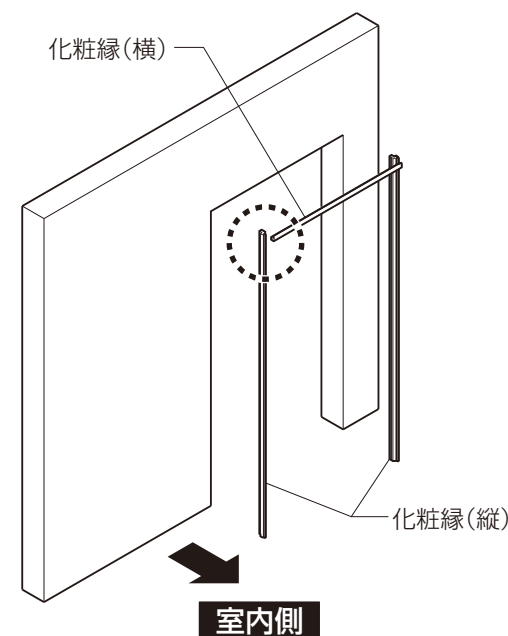
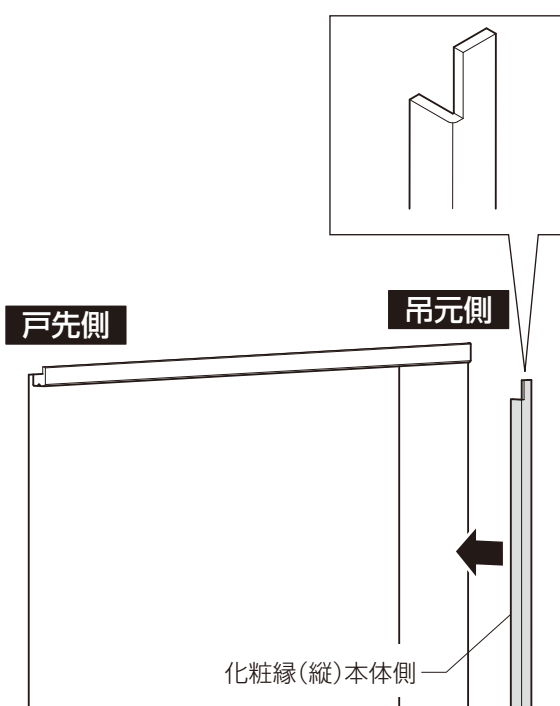
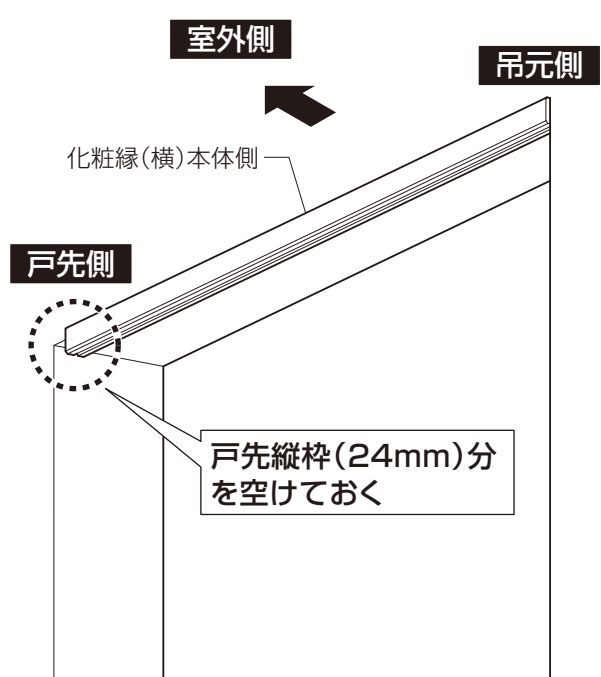
お願い  
※現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。

②化粧縁を開口に合わせて切断し、接着剤(化粧縁セット同梱)で貼付け、かくし釘で固定します。

1. 化粧縁(横)本体側を取付けます。

2. 化粧縁(縦)本体側を取付けます。

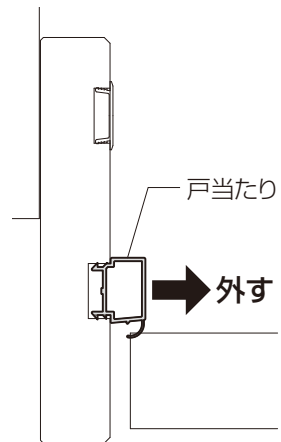
3. 本体と反対側の化粧縁(縦・横)を取付けます。



②既存枠を必要に応じて加工、化粧します。

【加工部例】

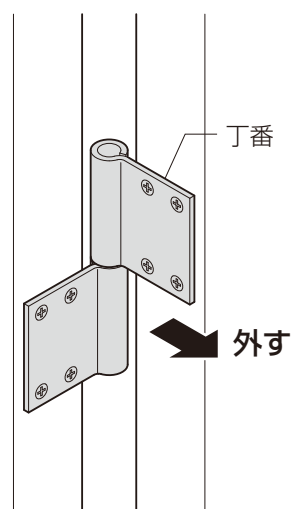
●既存枠戸先縦枠の戸当たりを取り外す。



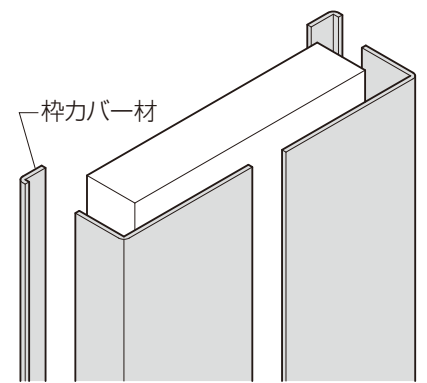
●既存枠戸先縦枠のストライク受けを取り外す。



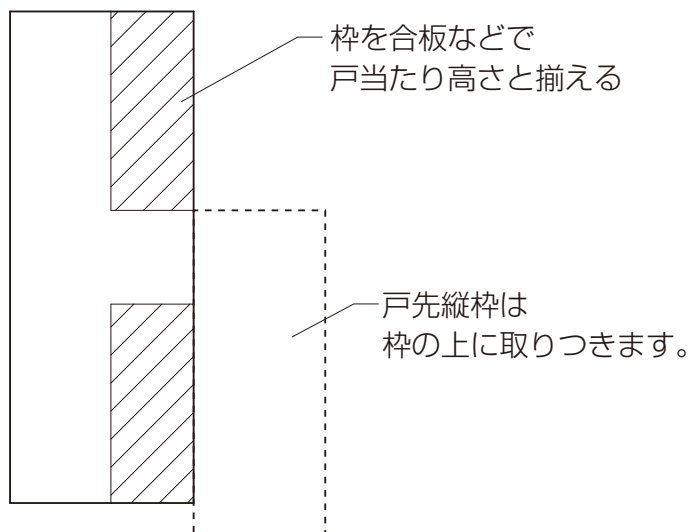
●既存枠吊元縦枠の丁番を取り外す。



●『リノバ』枠カバー材などで既存枠を化粧する。



※戸先縦枠の戸当たりが外せない場合、図のように戸当たり高さまで枠をふかしてください。

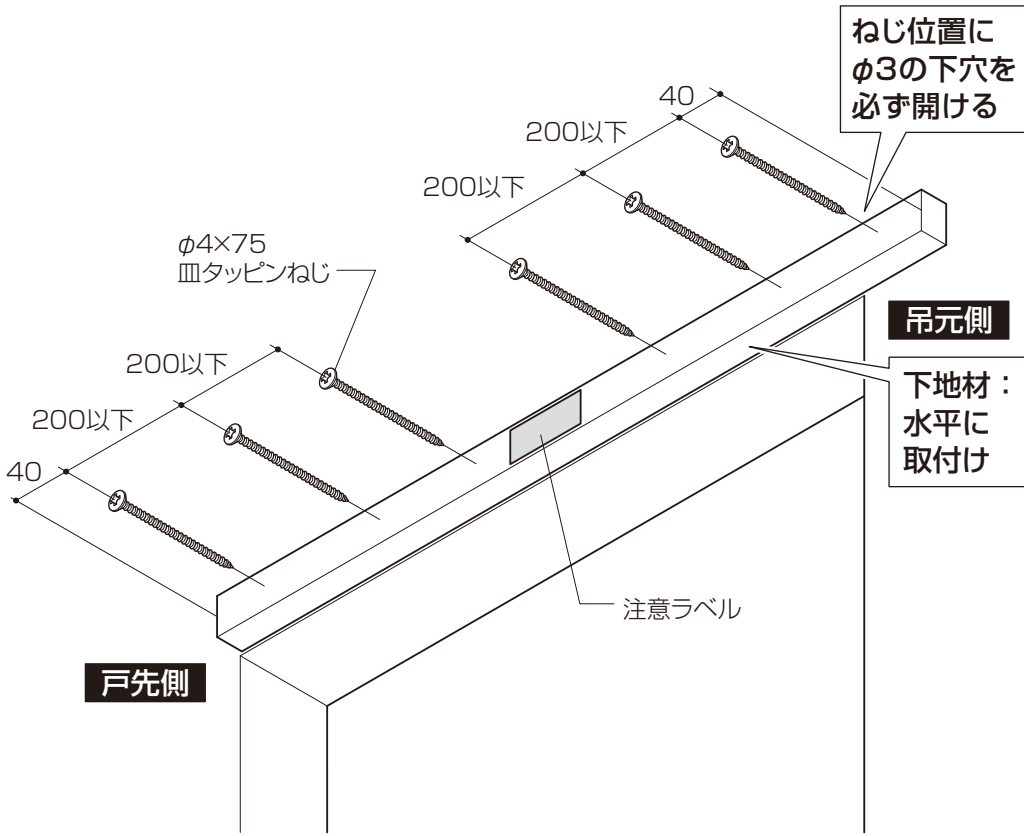




## ■取付け順序

### 1 下地材の取付け

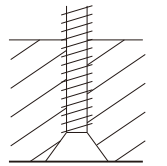
開口上部に下地材を取付けます。(図は右吊仕様を示します)



### ▲ 注意

- 下地材の固定強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・ 下地材を固定する下地はまぐさ、柱などの硬木としてください。
  - ・ 躯体が軽量鉄骨の場合は開口補強材、もしくは木枠をまわしてください。
  - ・ ランナー・スタッドにはねじを効かせないでください。
  - ・ 開口補強材に取り付ける場合はドリルねじ(現場手配)で固定してください。

- お願い
- ※ 下地材は必ず水平に取付けてください。開閉不良につながるおそれがあります。
  - ※ ねじ位置には必ずφ3の下穴を開けてください。下穴を開けない場合、ねじ頭が飛ぶおそれがあります。
  - ※ ねじ固定の際はねじ頭が下地材に埋まるまで打ち込んでください。ねじ頭が飛び出ている場合、レールが取り付けられません。

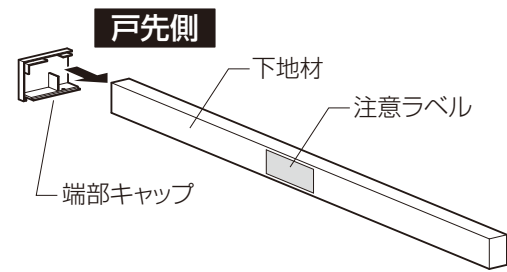


ねじ頭を飛び出させない

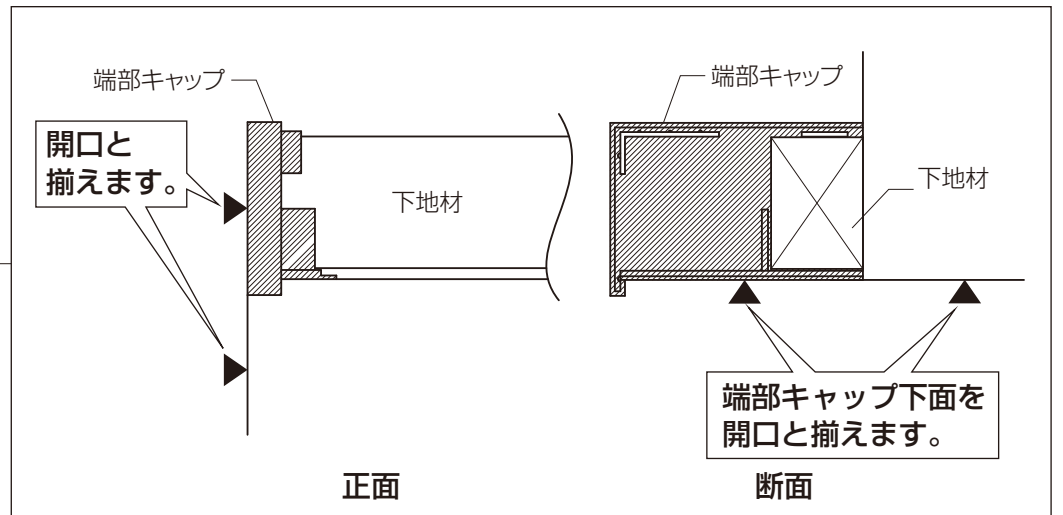
### 【下地材の位置決め方法】

下地材戸先側に端部キャップを付けて位置出しします。  
下地材固定後、端部キャップは取り外します。

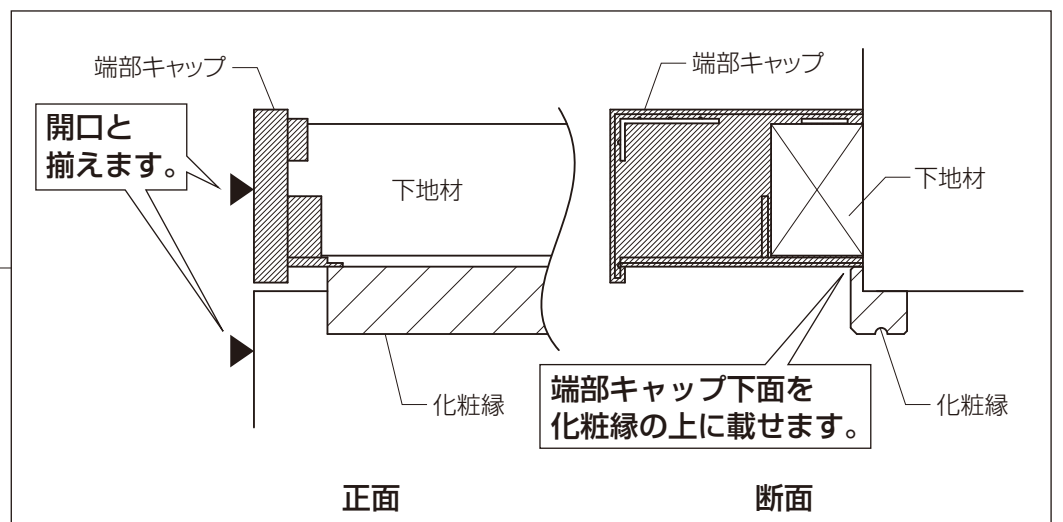
- ① 下地材の戸先側に端部キャップをはめます。  
(図は右吊の場合)



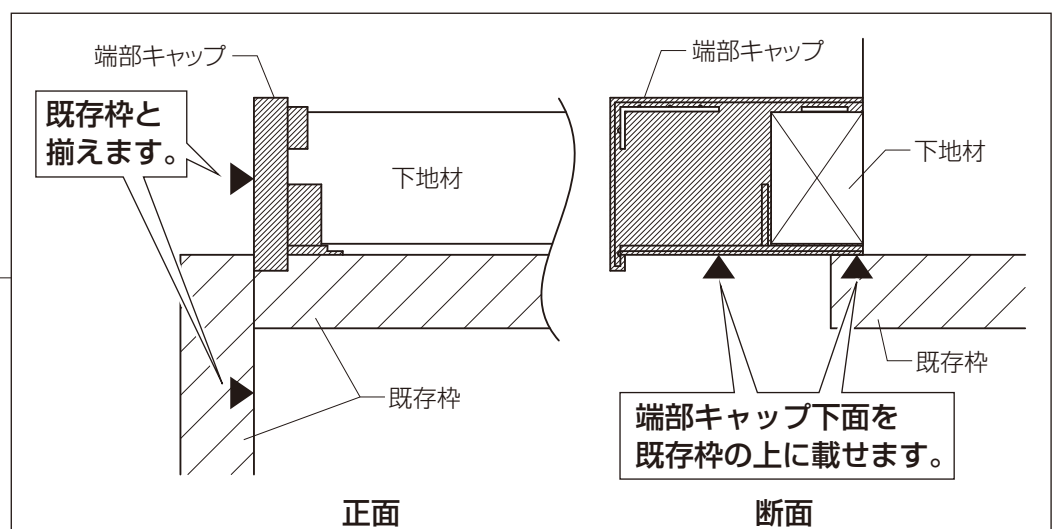
#### 化粧縁なし



#### 両側化粧縁



#### 既存枠あり



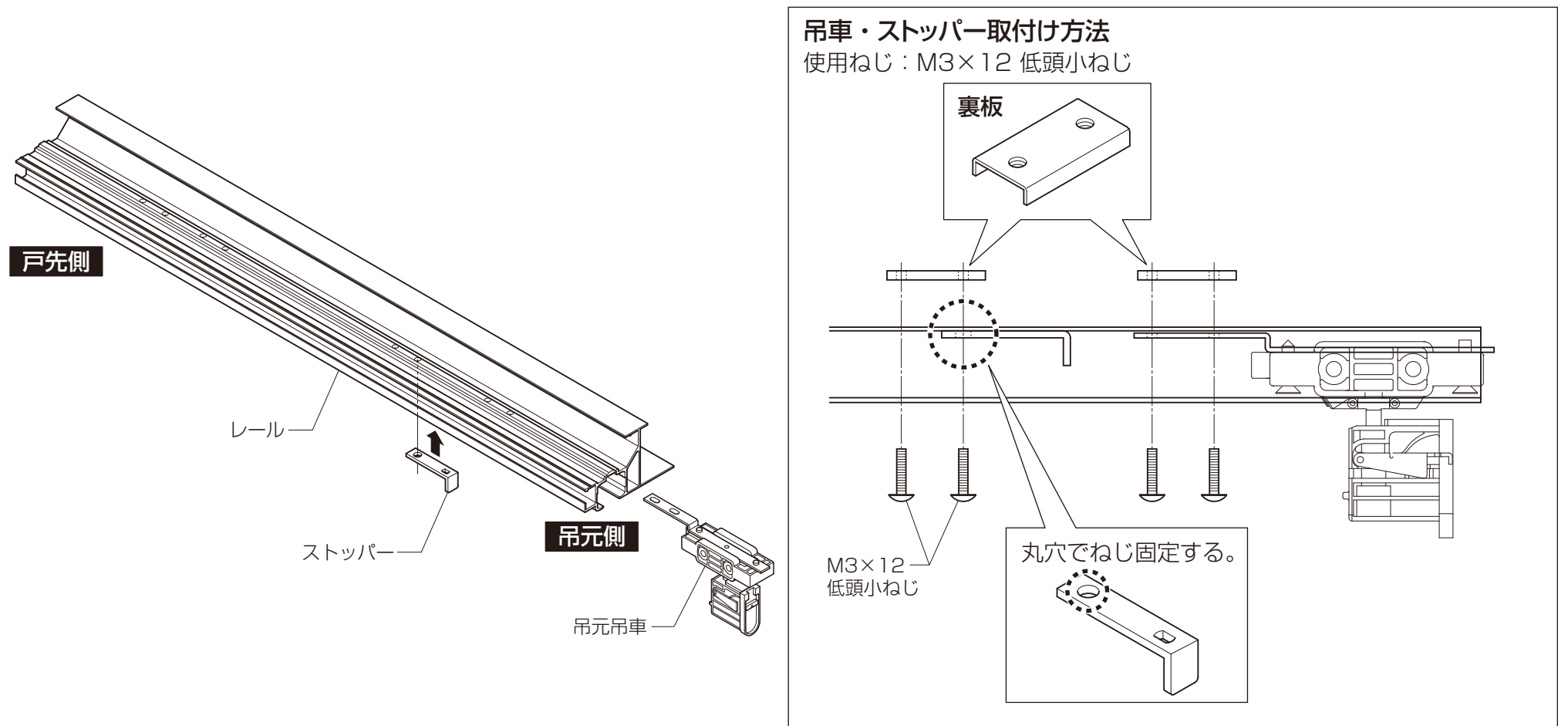
## 2 レールへの部品取付け

レールに吊元吊車とストッパーを固定します。



右吊仕様の場合はレールの右側に、左吊仕様の場合はレールの左側に固定します。

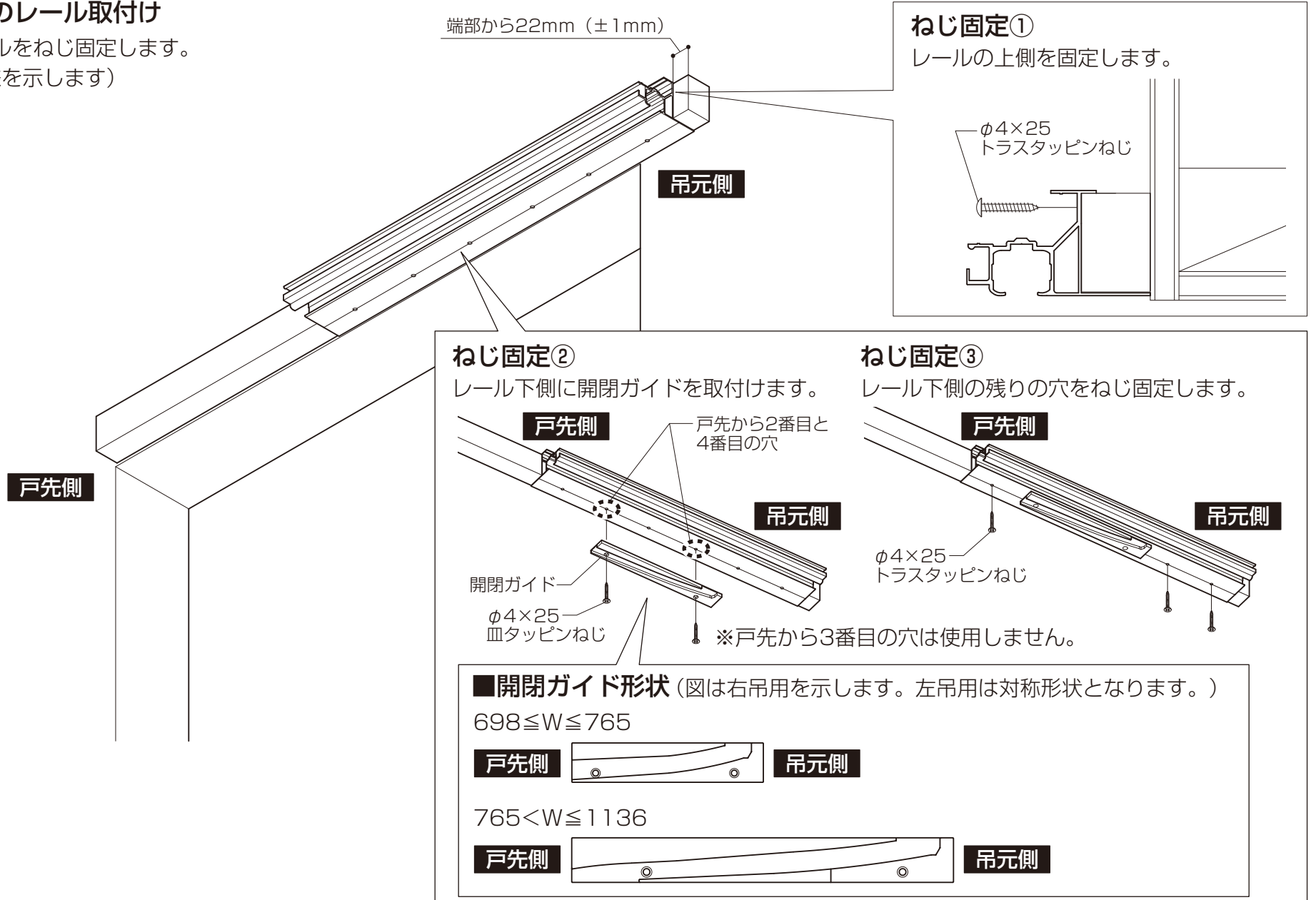
下図は右吊仕様の場合を示します。左吊仕様の場合は図と対称の部品位置としてください。



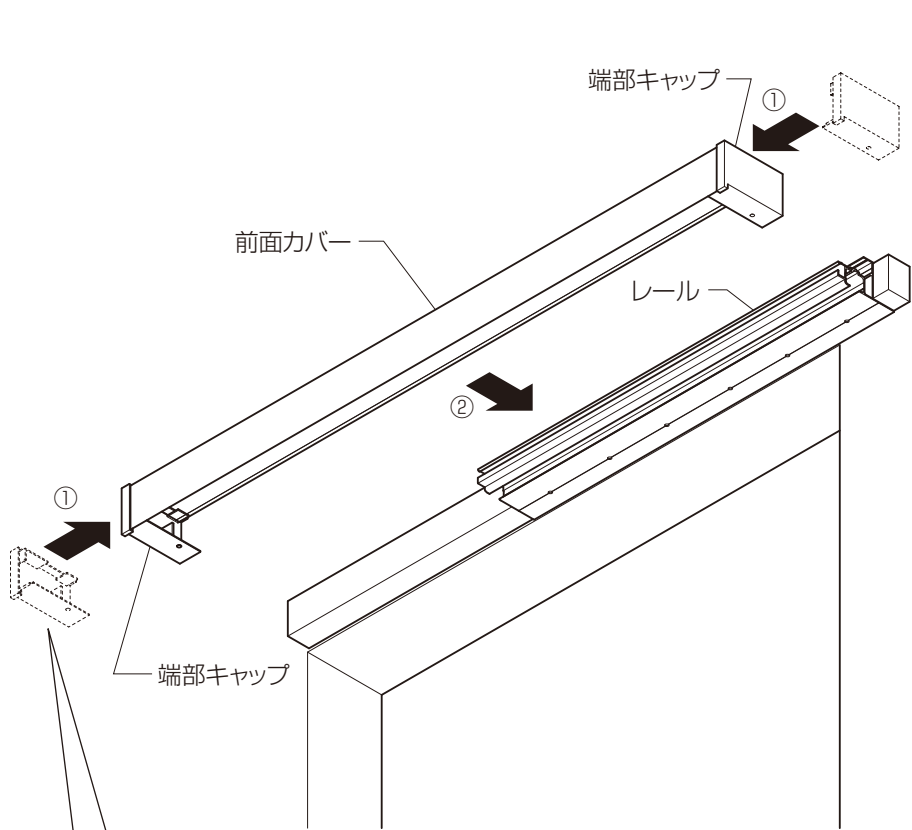
## 3 下地材へのレール取付け

下地材にレールをねじ固定します。

(図は右吊仕様を示します)



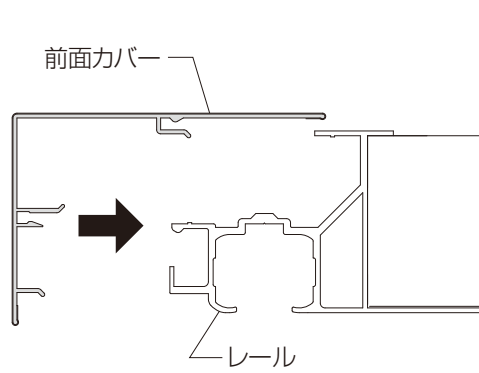
#### 4 前面カバーの取付け



①前面カバーの両端に端部キャップをはめ込みます。

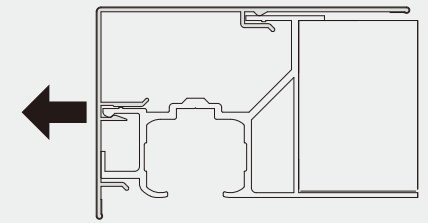
**お願い**  
※端部キャップは奥まではめ込み、両面テープで接着してください。

②前面カバーをレールに前からはめ込みます。



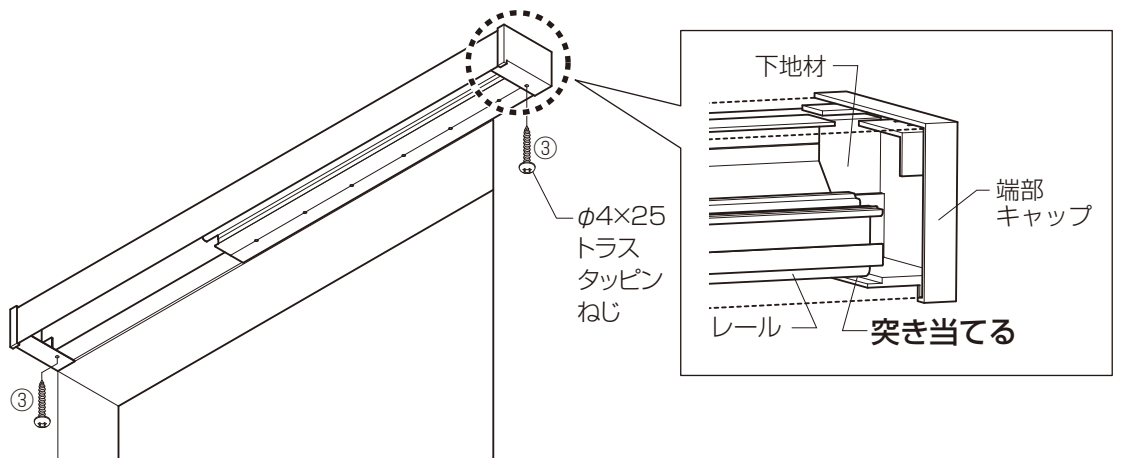
#### 注意

●はめ込んだ後は、前面カバーを軽く引っ張り外れないことを確認してください。はまっていない場合、前面カバーの落下につながります。

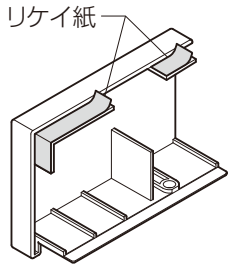


引っ張って確認

③端部キャップを下部からねじ固定します。

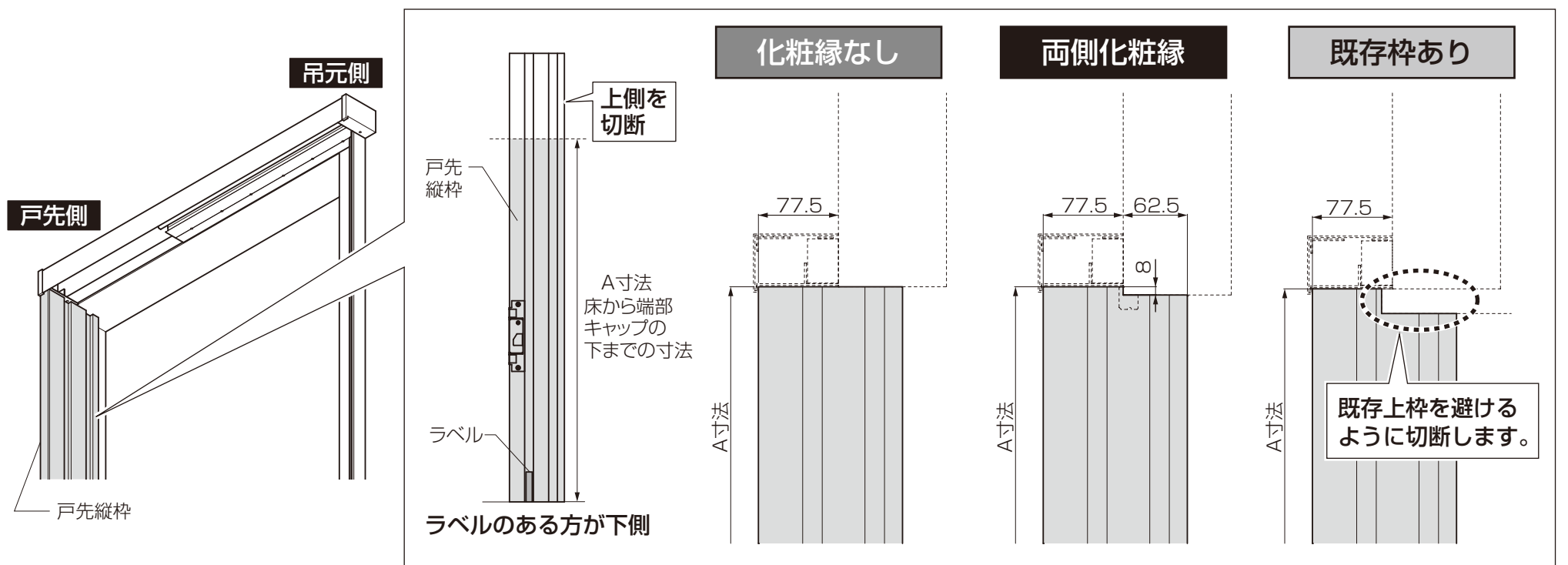


端部キャップははめ込み前にリケイ紙をはがします。

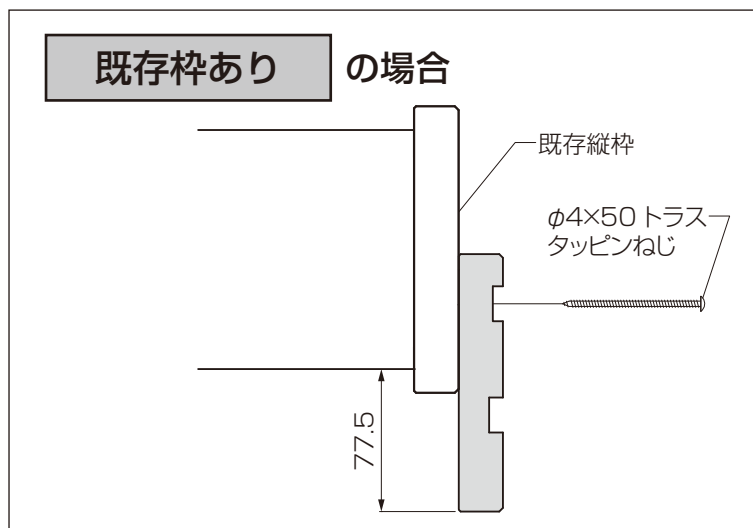
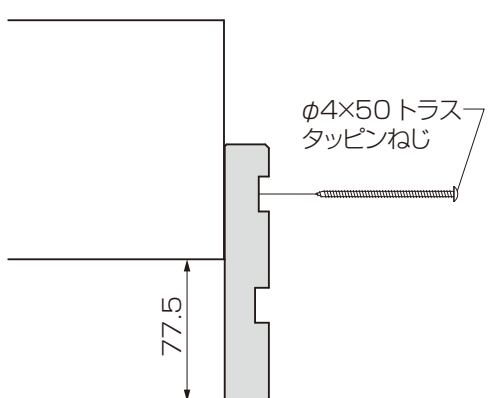


#### 5 戸先縦枠の取付け

①戸先縦枠を高さに合わせて切断します。

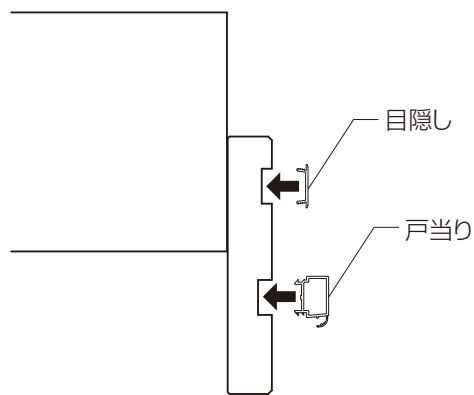


②戸先縦枠をねじ固定します。



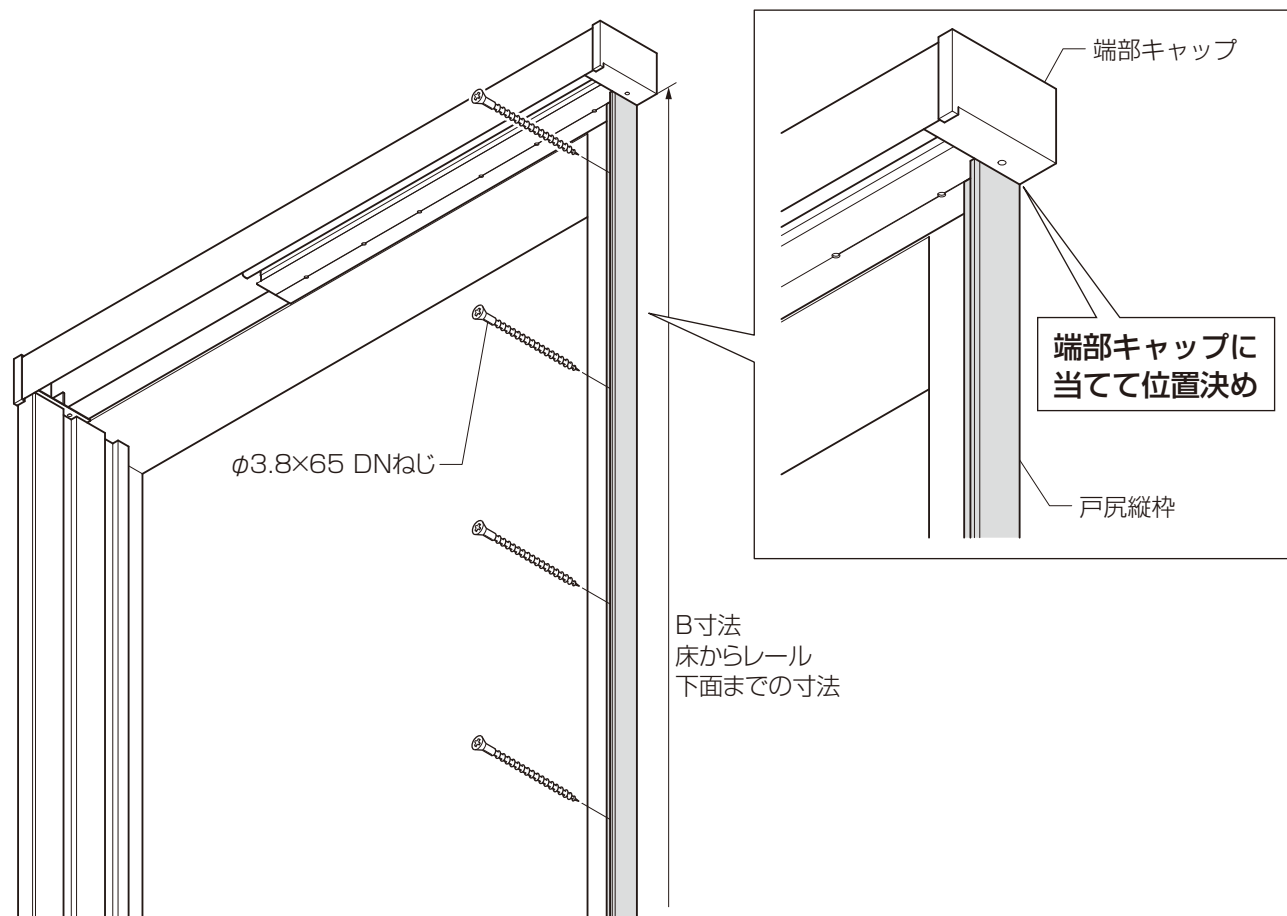


③戸先戸当りと目隠しを縦枠高さに合わせて切断し取付けます。

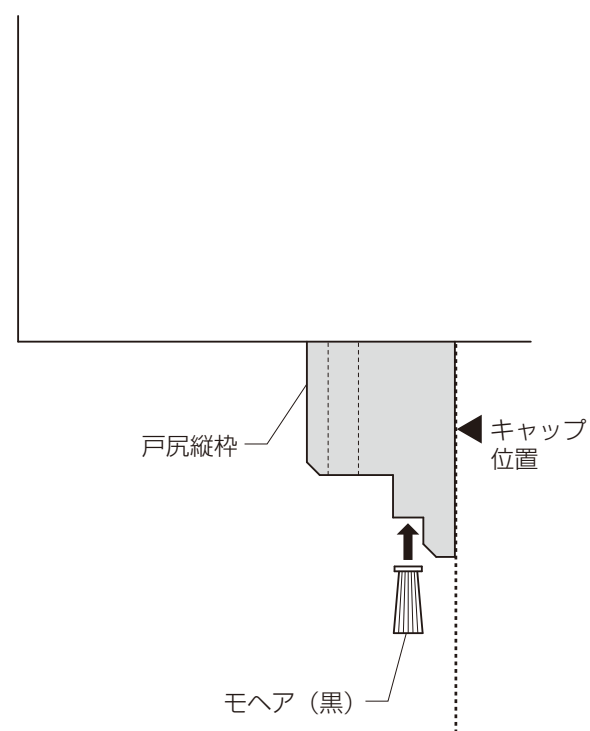


## 6 吊元縦枠の取付け

①戸尻縦枠を高さに合わせて切断し、ねじで固定します。

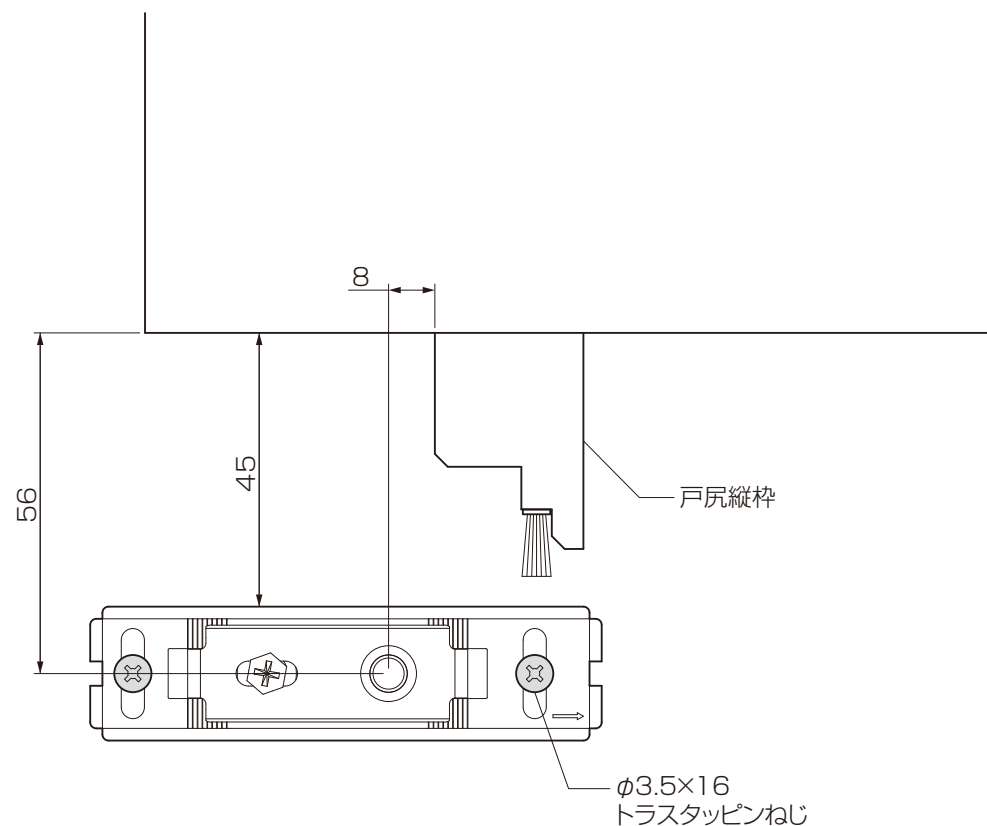


②戸尻縦枠を取付け、縦枠セット同梱のモヘアを貼り付けます。



## 7 戸尻側下部の軸受部品の取付け

①戸尻側下部の軸受部品を取付けます。



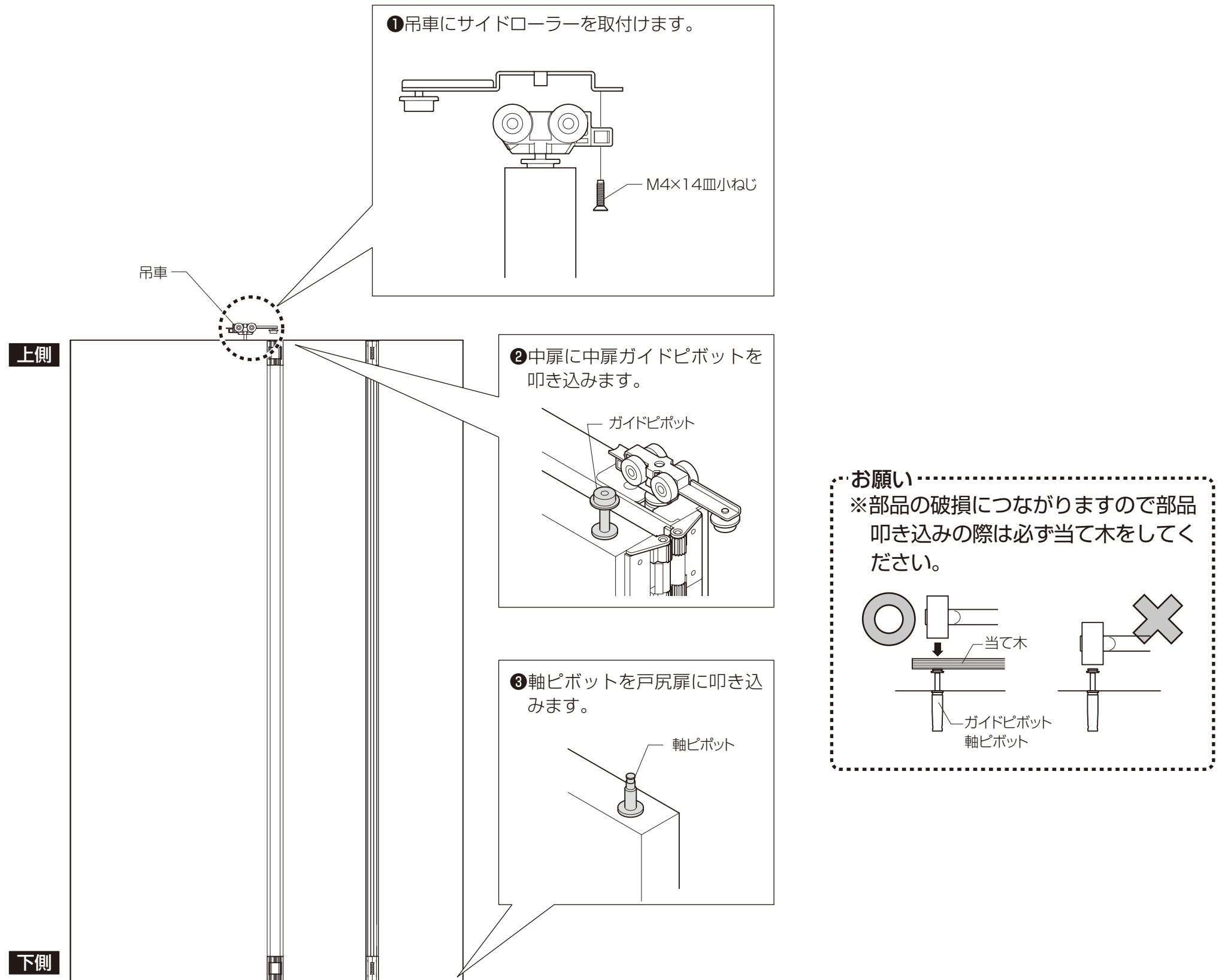
お願い  
 ※クッションフロアや弾性がある床に取付けする場合は、沈み防止処理(合板に貼りかえるなど)を実施してください。開閉に支障をきたす原因になります。

## 8 本体の吊りこみ

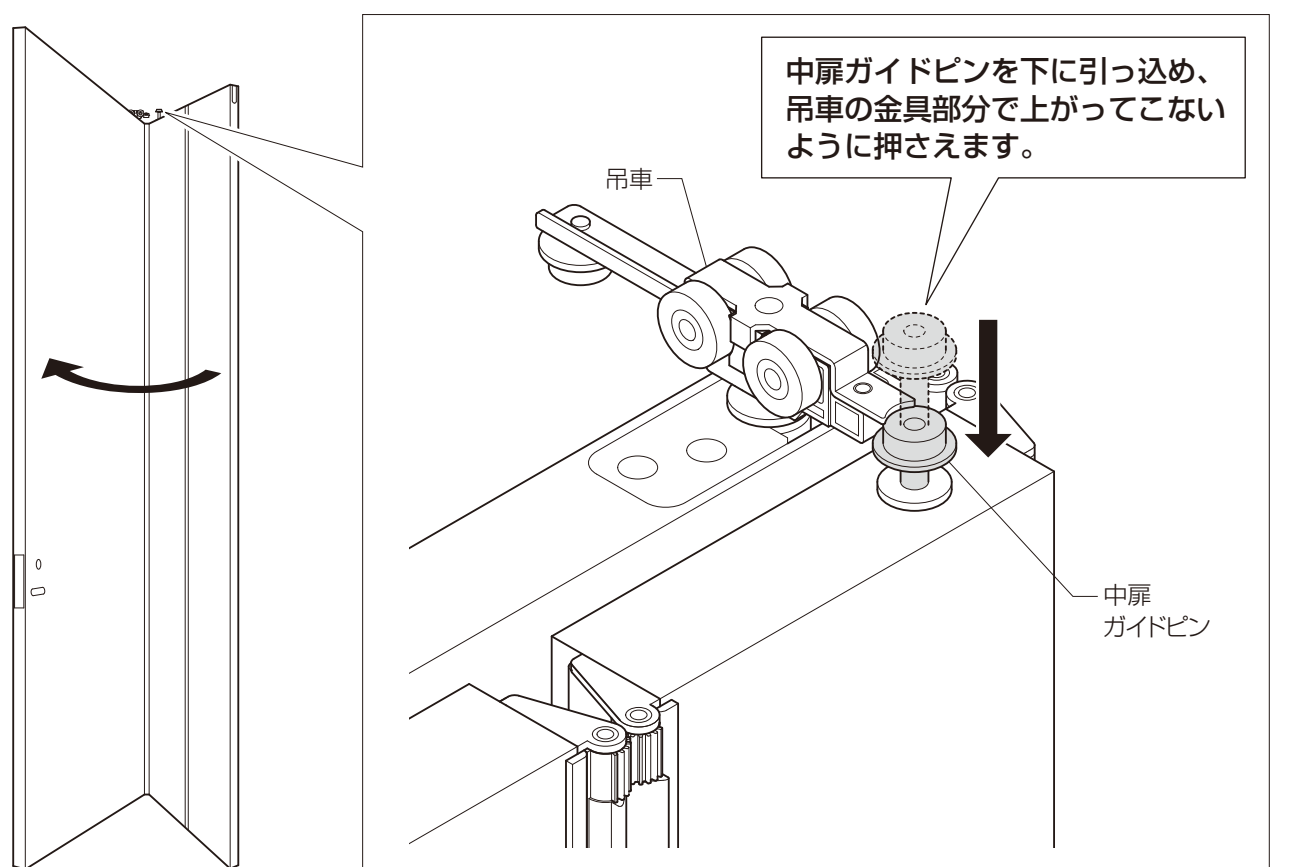
お願い

※扉を吊りこむ前に必ず開口床をダンボール等で養生してください。  
養生しない場合、傷つきのおそれがあります。

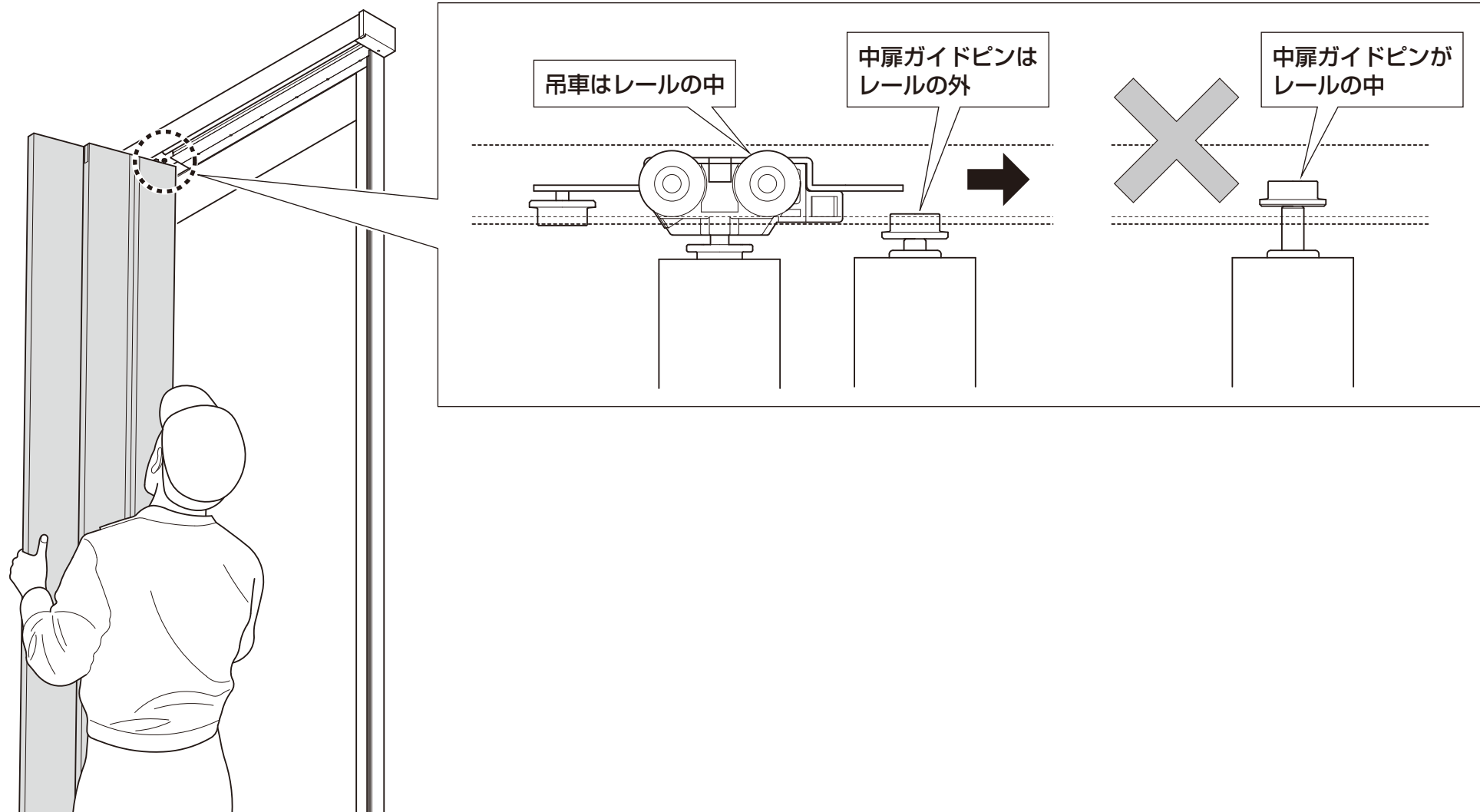
①本体に部品を取付けます。



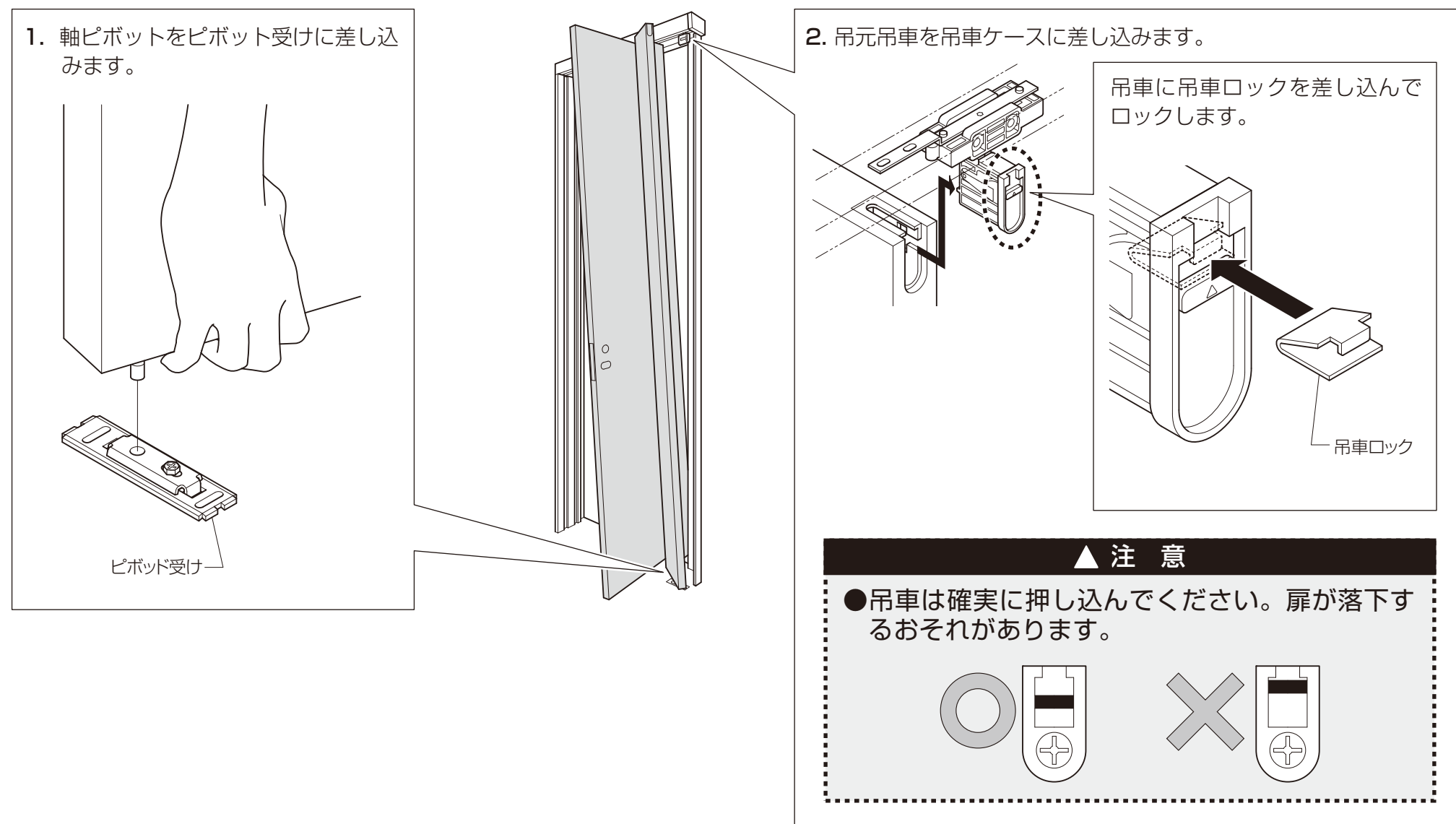
②本体を半分に折りたたみ、部品を右図のようにかみ合わせます。



③本体を折りたたんだ状態で吊車をレールに通します。

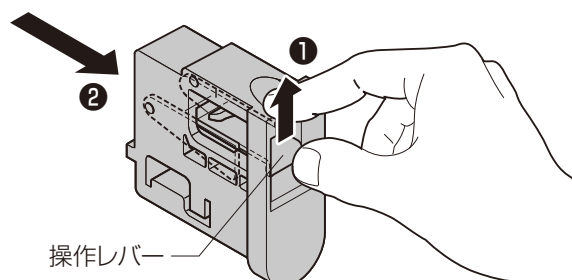


④扉を固定します。

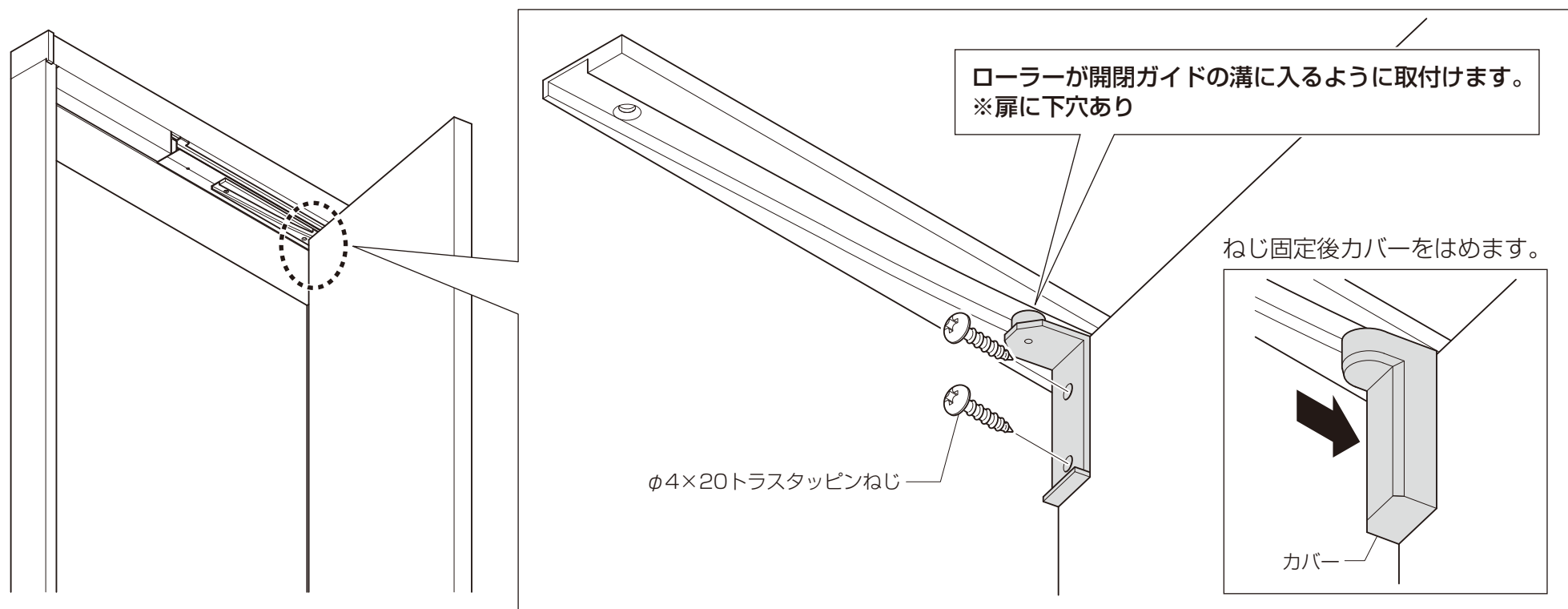


※扉を取り外す場合は、逆の手順で行ってください。

吊元吊車は吊車ロックをマイナスドライバー等で取り外し、操作レバーを上へ上げ、取り外してください。



⑤戸先扉に上部ローラーをねじで固定します。

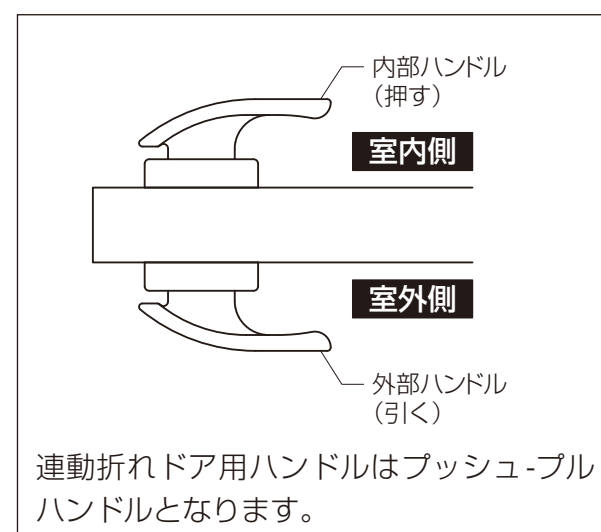
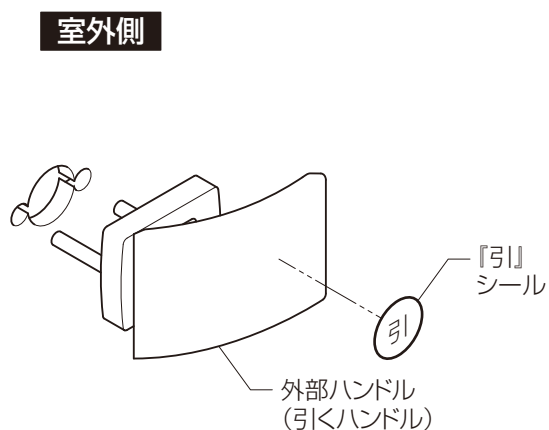
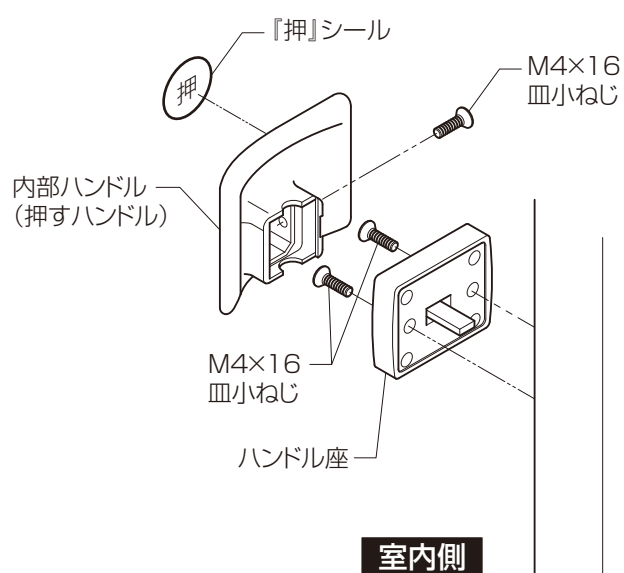


## 9 ハンドル、錠の取付け

本体にハンドル、錠を取付けます。

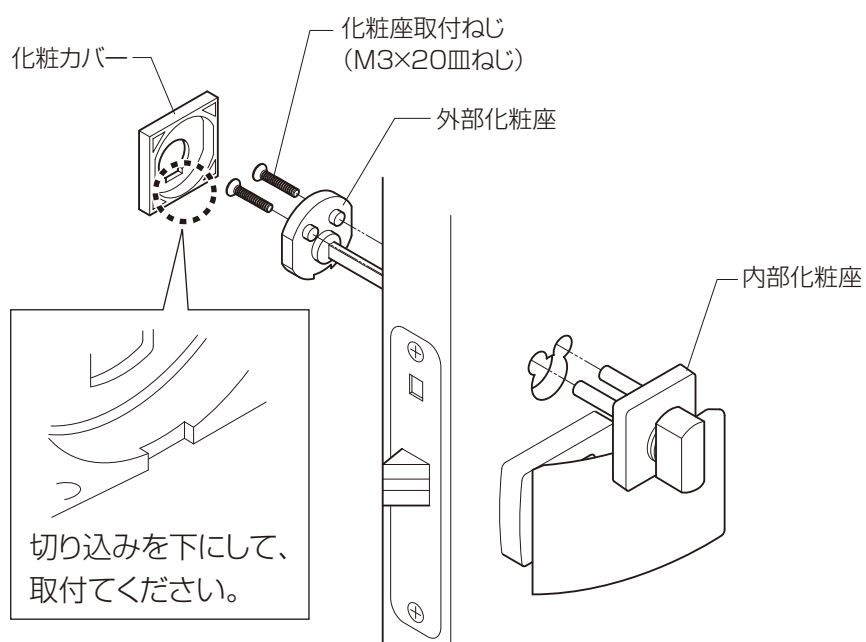
### ■ハンドル

- ①ハンドル座と外部ハンドルをねじで固定します。
- ②ハンドル座に内部ハンドルをねじで固定します。
- ③必要に応じて、ハンドルに『押』『引』シールを張り付けてください。



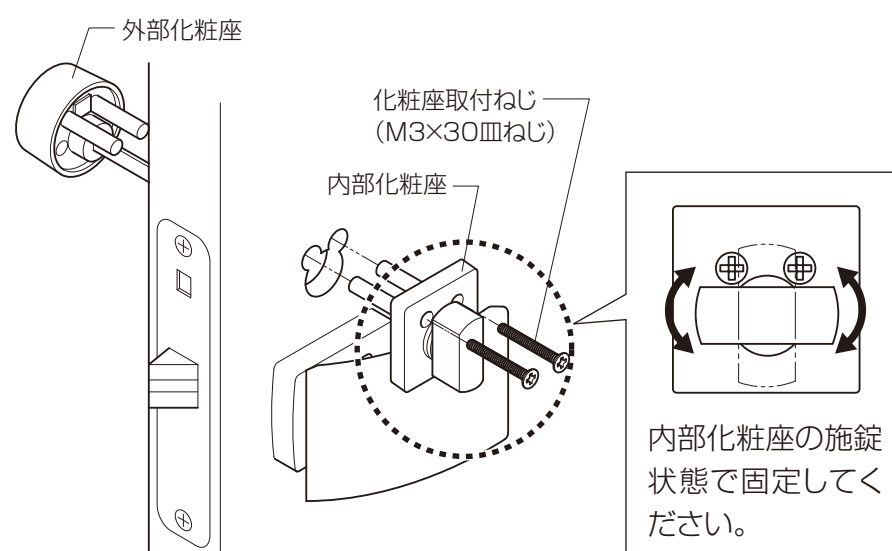
### ■簡易錠、表示錠

- ①内側の扉面に内部化粧座を取付け、外側から化粧座取付けねじで外部化粧座を固定してください。
- ②化粧カバーを取付けてください。



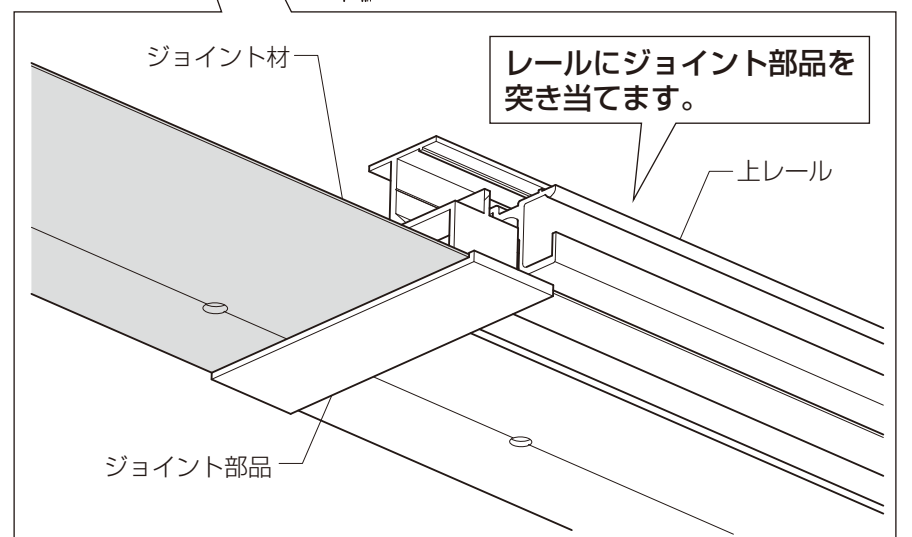
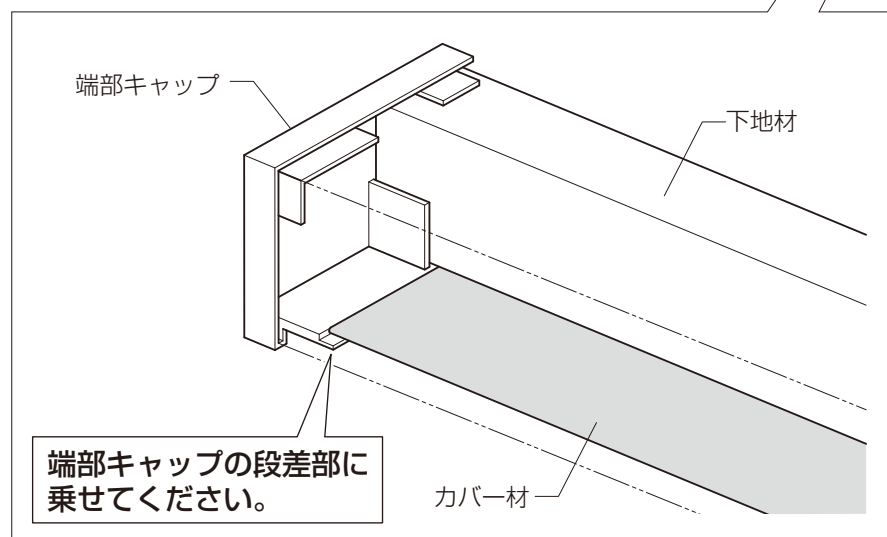
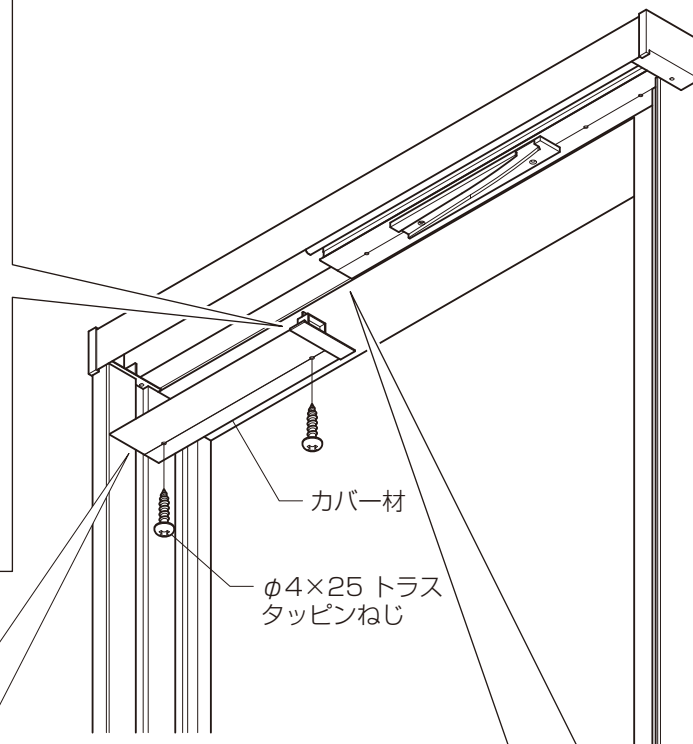
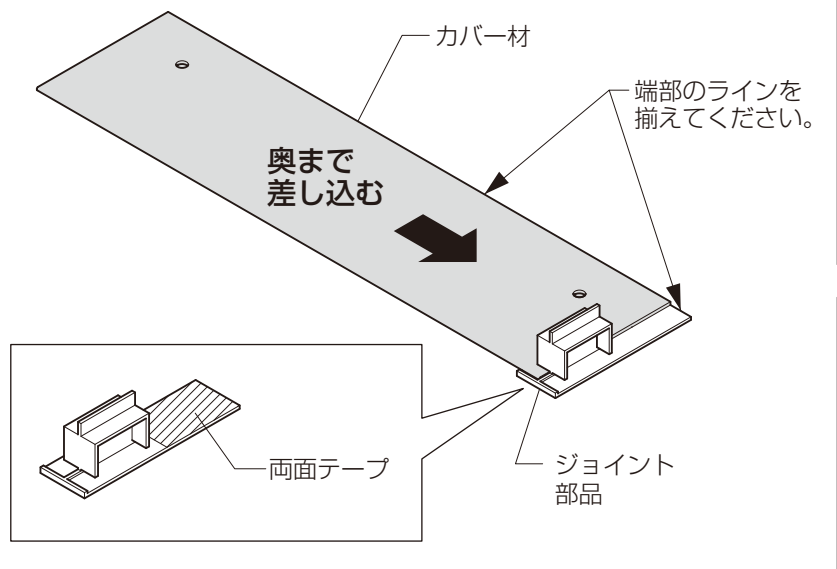
### ■シリンダー錠

- ①外側の扉面に外部化粧座を取付け、内側から内部化粧座を取付けてください。
- ②サムターンを90度回転させ、施錠状態にした上で化粧座取付けねじで固定してください。



## 10 カバー材の取付け

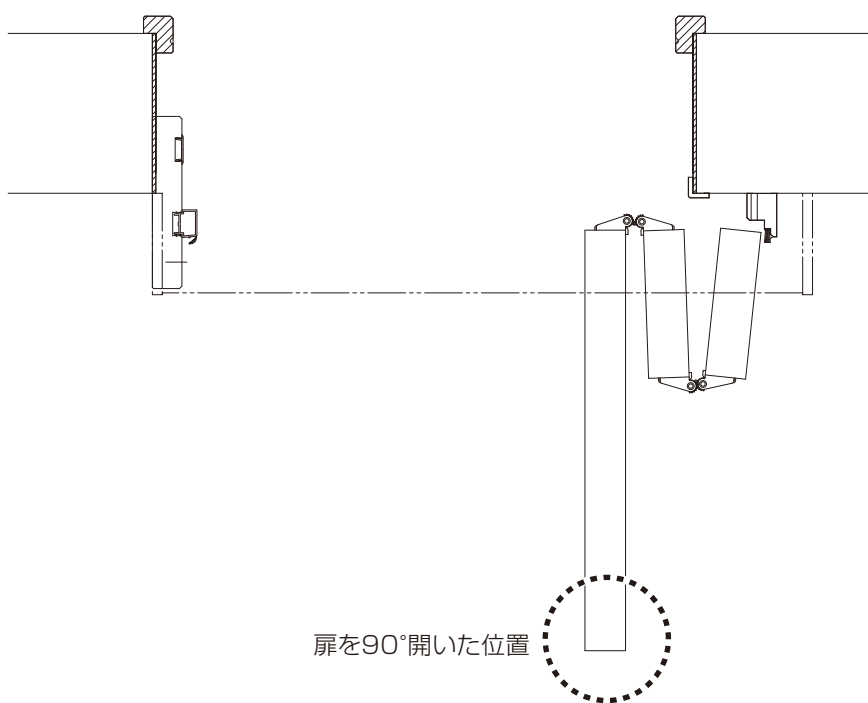
①カバー材にジョイント部品を両面テープで貼り付けます。



②カバー材をねじで固定します。

## 11 みえないぞうドアストッパーの取付け

【取付け位置】





## 【取付け方法】

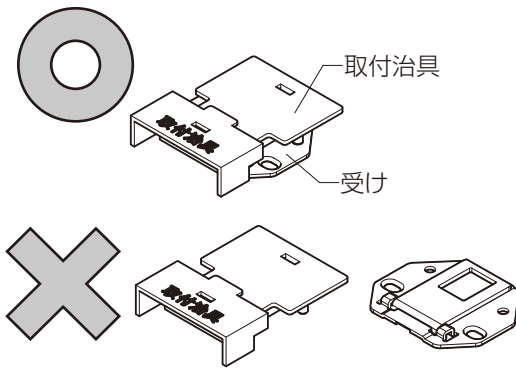
### ①取付け前の準備

①扉の建付け調整を完了させてください。

※先に受けを取付けた後、建付け調整をすると、ドアストッパーが正常に作動しない場合があります。

15/17 ページ参照

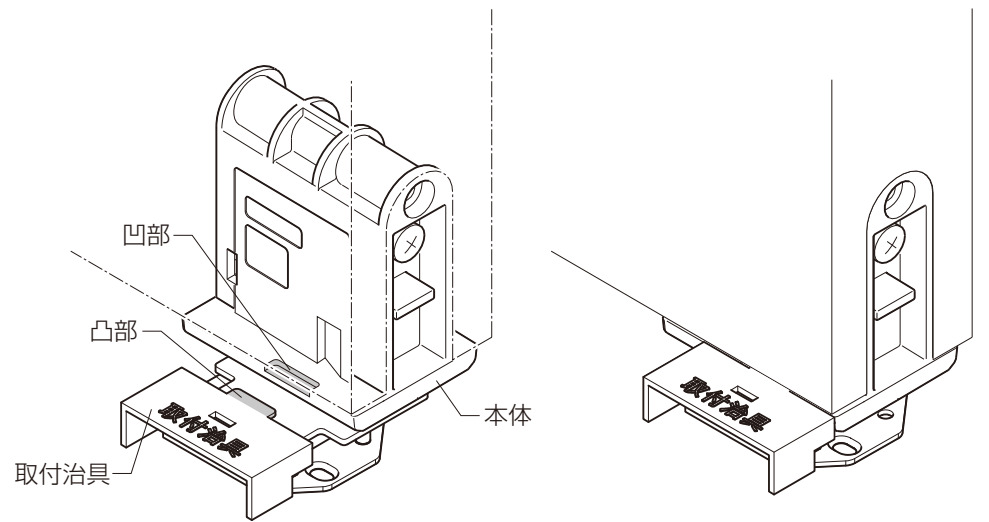
②受けが取付治具と一体になっていることを確認してください。外れている場合ははめてください。



お願い  
※受けの取付けが完了するまで取付治具は外さないでください。

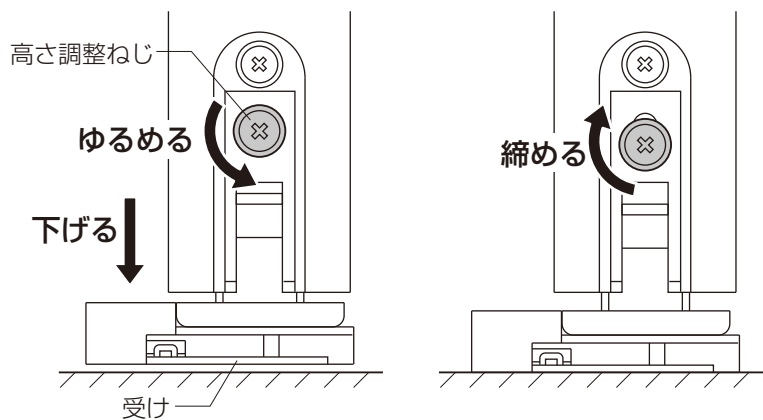
### ②取付け治具を本体にセットする

①取付治具の凸部を本体の凹部に合わせてセットしてください。

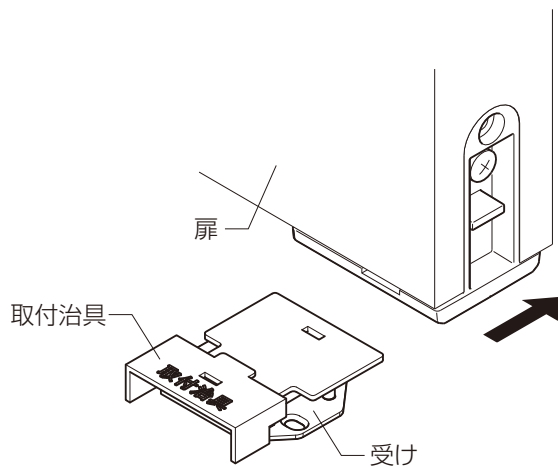


### ③受けを取付位置にセットする

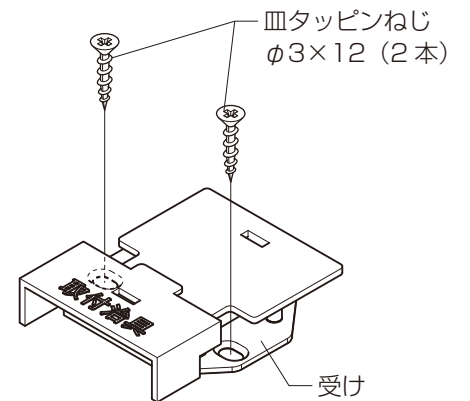
①扉を停止させたい位置まで開き、その位置で本体の高さ調整ねじをゆるめ、受けを床面まで下げてください。受けが床面に接地したら高さ調整を締付け、本体を固定してください。



②取付治具、受けを動かさないように手で固定し、扉を移動させてください。

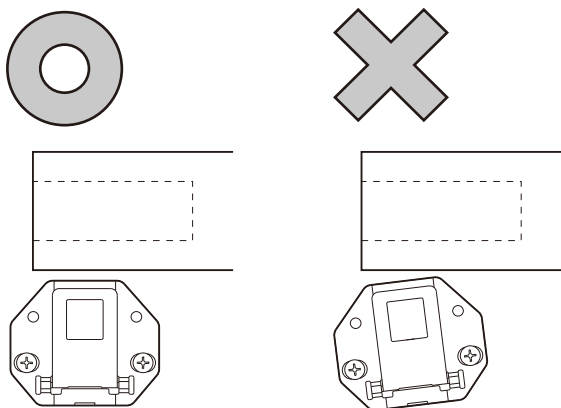


③受けの取付け位置に下穴をあけて付属のねじで固定してください。



### ④取付け状態および作動の確認をする

①正しく取付けられていることを確認してください。



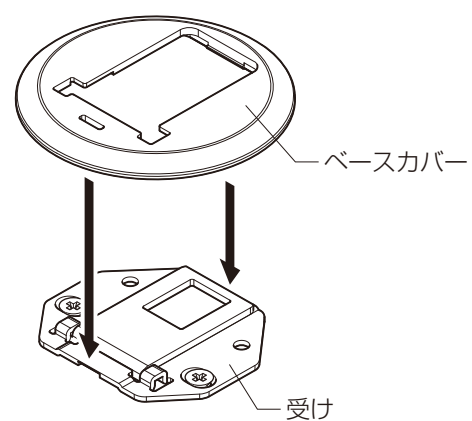
②ロックレバーが上がっている状態で本体が受け部品の真上にくるように扉を開き、正常に作動するか確認してください。

③ロックレバーを下げてロックができることを確認してください。

### ⑤ベースカバーをはめ込む

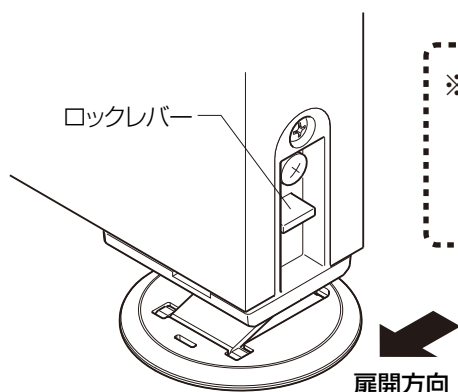
①必ず④の確認後、ベースカバーを取付けてください。

②受けにカチッと音がするまでベースカバーをはめ込んでください。



## 【取扱い方法】

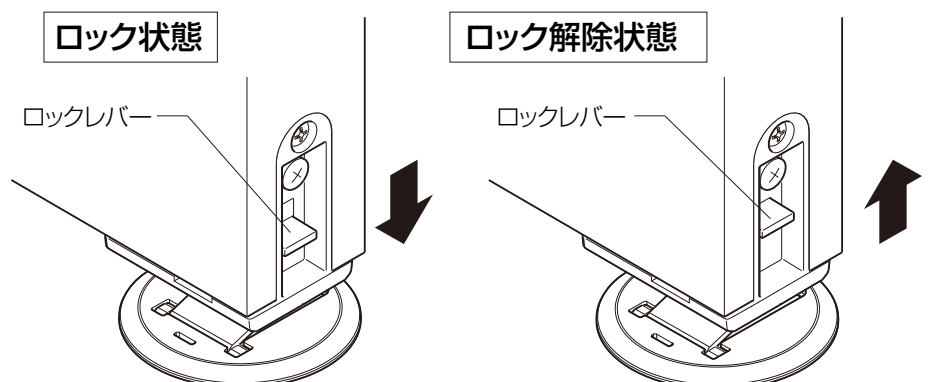
●本体が受け部品に近づくとフラップが立ち上がり、ストッパーが作動します。



お願い  
※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。部品が破損するおそれがあります。

※本体の開く速度が速すぎると作動しなかったり、部品が破損するおそれがあります。

●ロックレバーを下げてロック状態にすると扉を開いた状態を維持します。



※ロックの際はフラップが本体の奥まで完全に入っていることを確認してください。

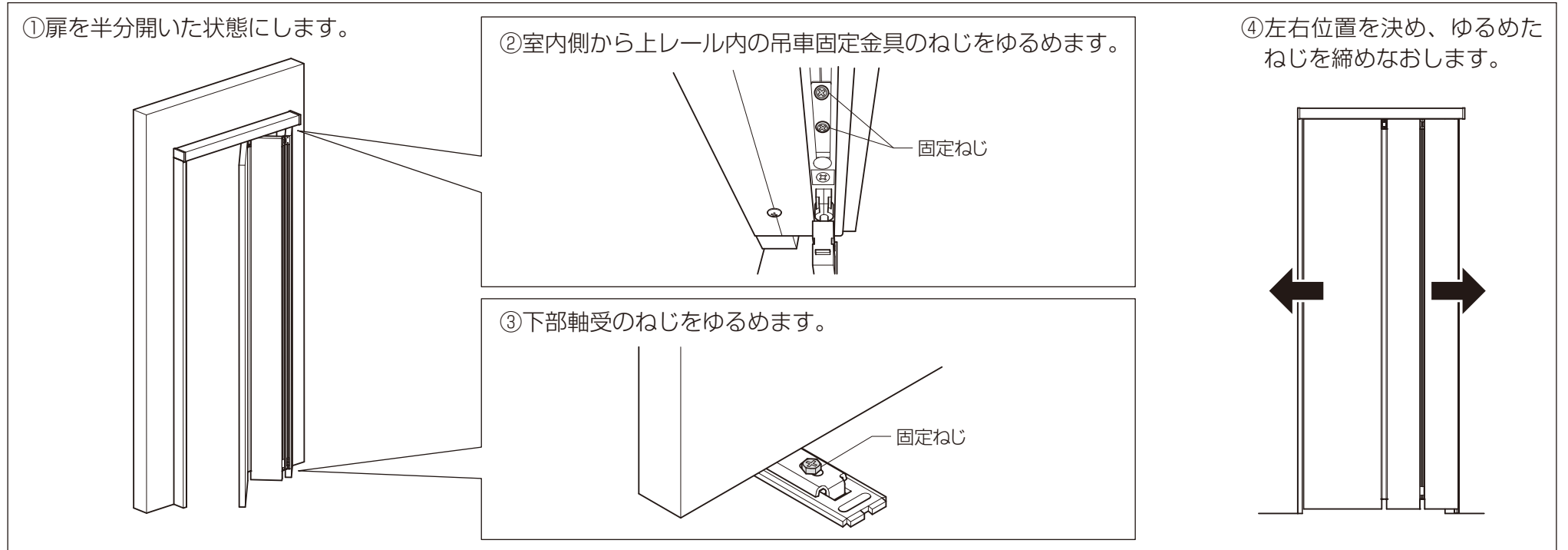
※ロック解除の際は、ロックレバーを完全に上げてください。

※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。

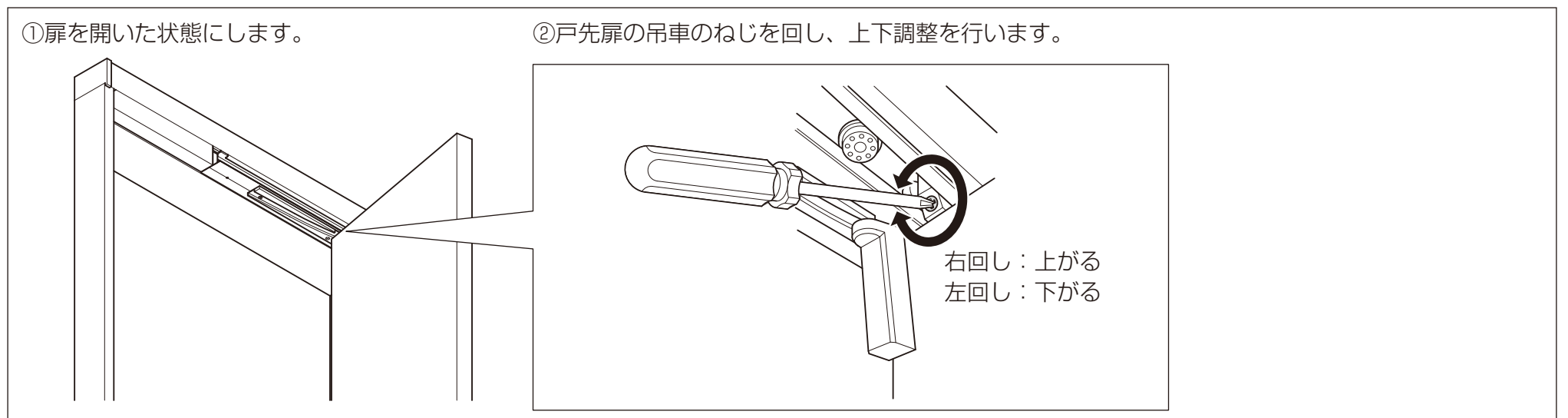
## ■調整方法

アウトセット連動折れドアは以下の調整が可能です。

### ■左右調整 (±2mm)

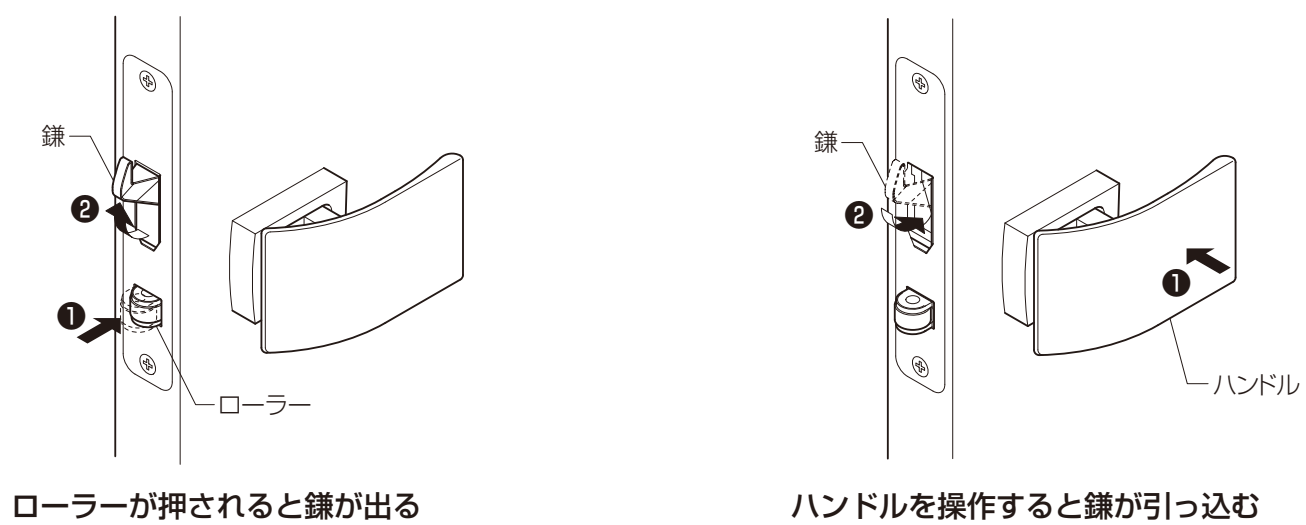


### ■上下調整 (戸先扉のみ±3mm)



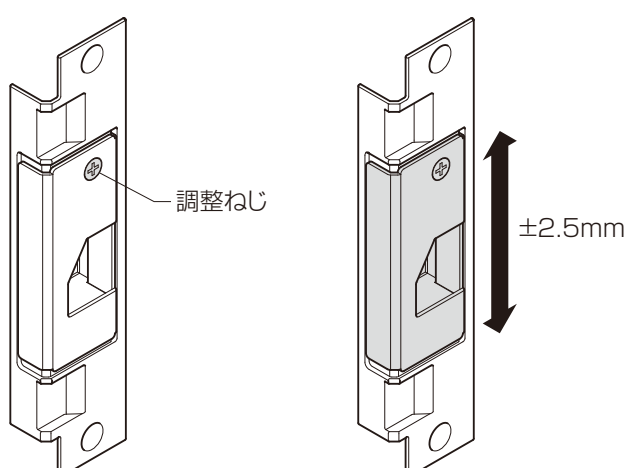
### ■ラッチ調整

#### 【ハンドル、ラッチの動作】



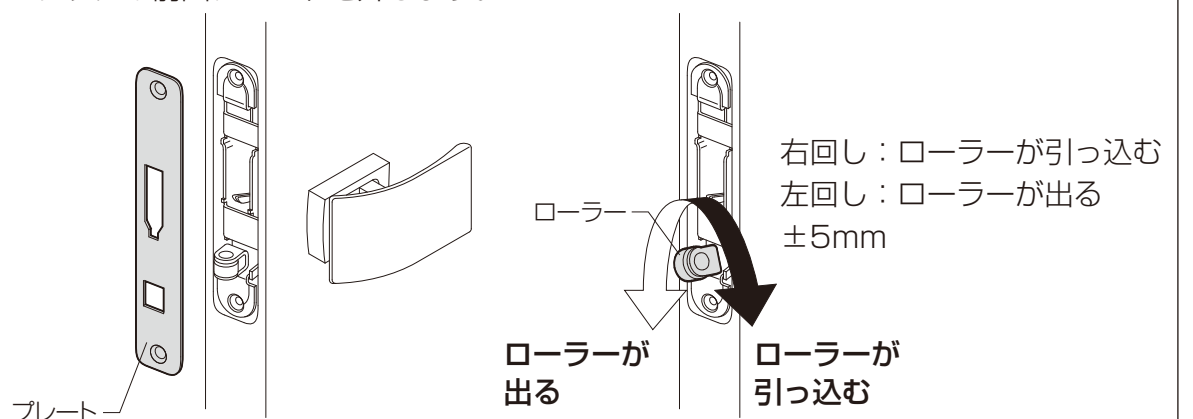
#### ■ラッチ受け高さ調整

調整ねじをゆるめるとラッチかかり部を上下に動かすことができます。



#### ■ローラー出幅調整

ラッチの前面プレートを外します。



■納まり図

■アウトセット連動折れドア（化粧緑なし）

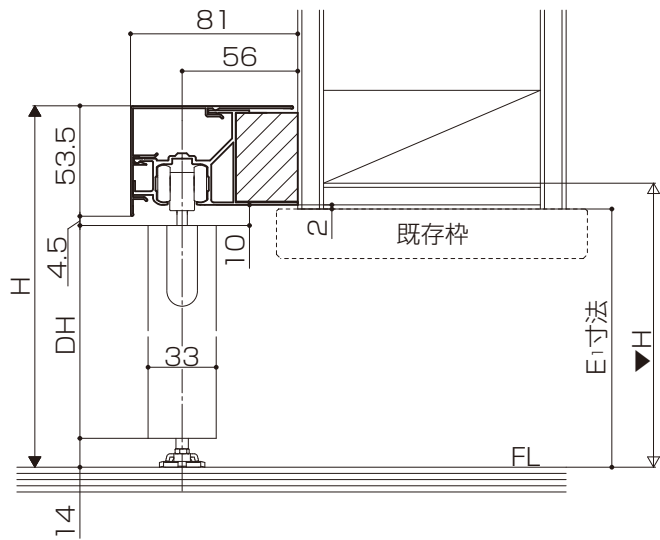
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B <sub>1</sub> 寸法	C寸法	D寸法	H呼称(枠外寸法)	E <sub>1</sub> 寸法
W07(700)	479	599	84	374	H20(2073)	2023

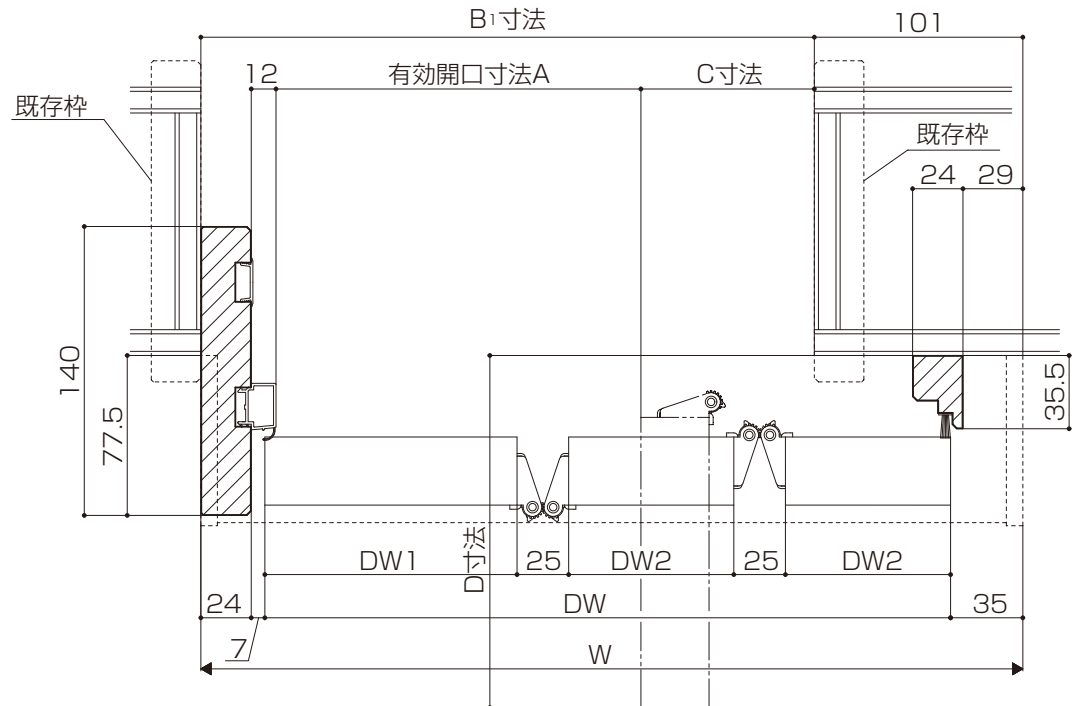
算出式

W寸法	DW	DW1	DW2	A寸法	B <sub>1</sub> 寸法	C寸法	D寸法	H寸法	DH	E <sub>1</sub> 寸法
698 ≤ W ≤ 765	W-66	W-356	120	W-221	W-101	84	DW1+30	1790 ≤ H ≤ 2231	H-72	H-50
765 ≤ W ≤ 1136		W-456	170	W-236		99				

●縦断面図



●横断面図



■アウトセット連動折れドア（両側化粧緑）

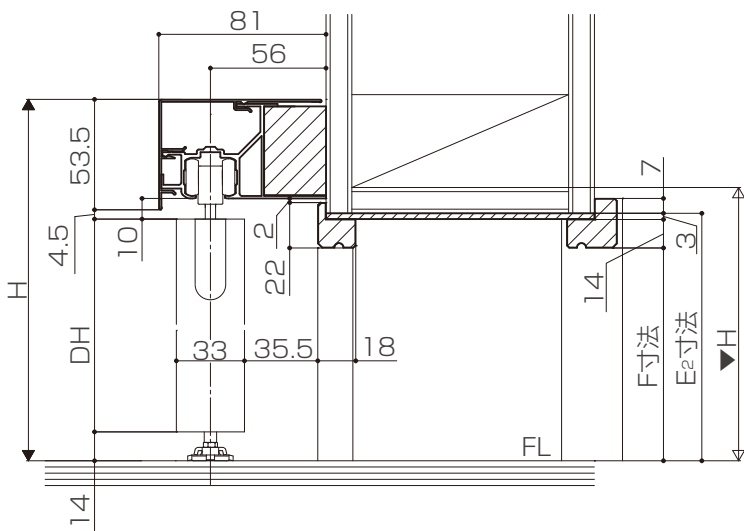
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B <sub>2</sub> 寸法	C寸法	D寸法	H呼称(枠外寸法)	E <sub>2</sub> 寸法	F寸法
W07(700)	479	605	84	374	H20(2073)	2018	2001

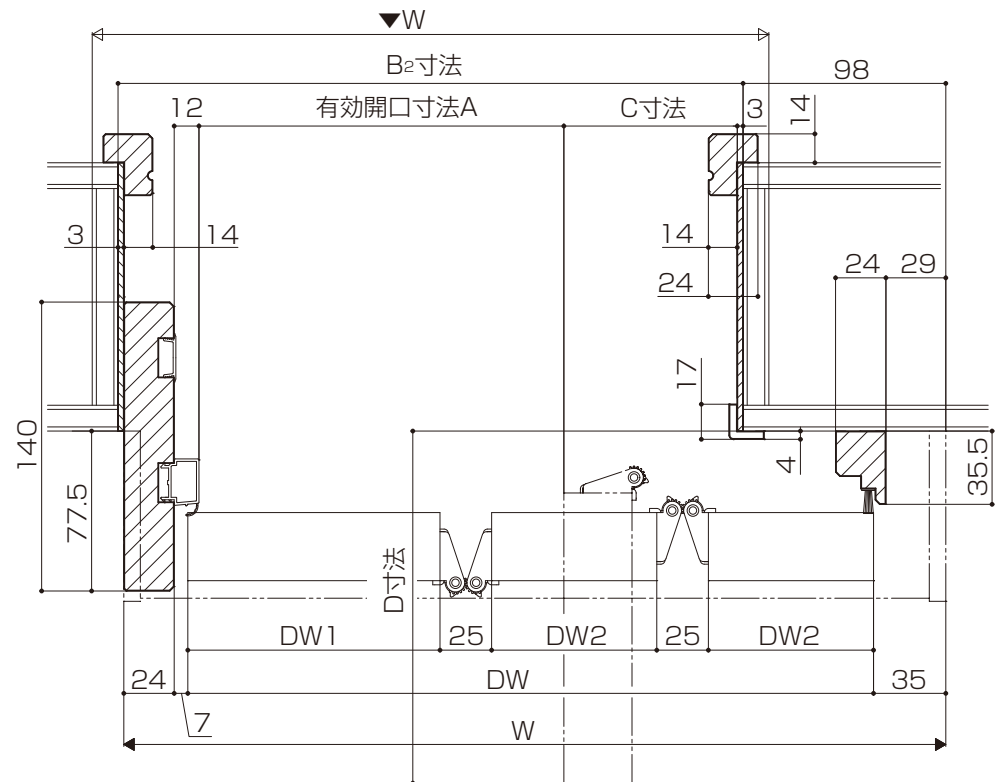
算出式

W寸法	DW	DW1	DW2	A寸法	B <sub>2</sub> 寸法	C寸法	D寸法	H寸法	DH	E <sub>2</sub> 寸法	F寸法
698 ≤ W ≤ 765	W-66	W-356	120	W-221	W-95	84	DW1+30	1790 ≤ H ≤ 2231	H-72	H-55	H-72
765 ≤ W ≤ 1136		W-456	170	W-236		99					

●縦断面図



●横断面図



■納まり図

■アウトセット連動折れドア (引き残しなし)

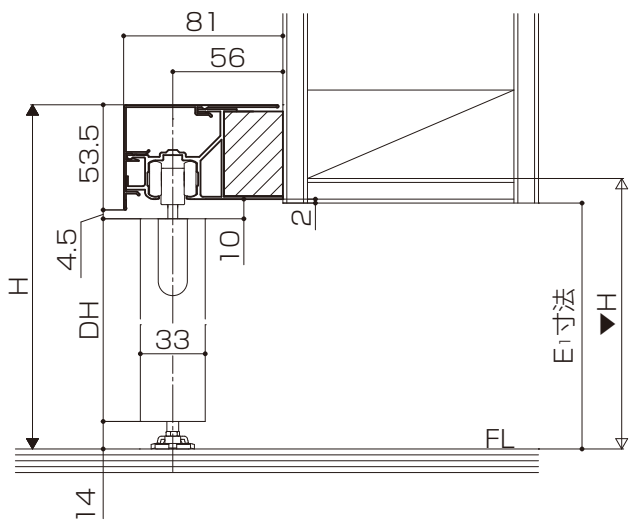
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B <sub>1</sub> 寸法	C <sub>2</sub> 寸法	D寸法	H呼称(枠外寸法)	E <sub>1</sub> 寸法
W07(700)	479	515	185	374	H20(2073)	2023

算出式

W寸法	DW	DW1	DW2	A寸法	B <sub>1</sub> 寸法	C <sub>2</sub> 寸法	D寸法	H寸法	DH	E <sub>1</sub> 寸法
698 ≤ W ≤ 765	W-66	W-356	120	W-221	W-185	185	DW1+30	1790 ≤ H ≤ 2231	H-72	H-50
765 ≤ W ≤ 1136		W-456	170	W-236	W-200	200				

●縦断面図



●横断面図

